

日出町教育委員会
点検・評価報告書
(令和5年度実施事業対象)



令和6年12月

日出町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和5年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

目 次

I	点検・評価制度の概要	1
1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象及び対象期間	1
3	点検・評価の方法	1
II	教育委員会の会議等の状況	2
1	教育委員会の構成	2
2	教育委員会開催状況	2
3	教育委員会審議状況	2
4	教育委員会会議以外の活動状況	2
5	令和5年度 教育委員会会議開催実績	3
6	令和5年度 教育長・教育委員活動実績	6
III	施策の点検・評価	10
1	点検・評価の対象	10
2	点検・評価の手順	10
IV	点検・評価第三者委員会	11
1	点検・評価第三者委員会委員の構成	11
2	点検・評価第三者委員会会議の状況	11
V	点検・評価報告書の作成	11
VI	点検・評価の報告	12
基本目標Ⅰ	学校・幼稚園教育の充実	13
基本目標Ⅱ	教育環境の充実	23
基本目標Ⅲ	生涯学習・社会教育の充実	35
基本目標Ⅳ	芸術・文化・スポーツの振興	46
基本目標Ⅴ	人権を尊重する社会づくり	58

I 点検・評価制度の概要

1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出することが義務付けられています。

本町教育委員会では、「第2期日出町教育振興計画（改訂版）」の取組状況を基に、学識経験者の知見を活用し、法第26条の規定に基づく点検・評価を行い、ここに報告書をまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び対象期間

（1）対象

教育委員会の活動状況及び令和4年3月に改訂した「第2期日出町教育振興計画（改訂版）」に掲げる基本的施策（主な取組み）

（2）対象期間

令和5年4月～令和6年3月

3 点検・評価の方法

（1）「第2期日出町教育振興計画（改訂版）」中の「主な取組み」ごとに、教育委員会が点検・評価を行います。

（2）点検・評価を行うに当たり、客観性及び透明性を高めるため、教育に関する学識経験者の知見を活用し、報告書を作成します。

（3）報告書は、日出町議会に提出します。

Ⅱ 教育委員会の会議等の状況

1 教育委員会の構成（令和6年3月末現在）

教育委員会は、地域の実情に応じた教育行政を行うことを目的として設置された行政委員会で、教育長と4人の委員から成る合議制の執行機関です。

【教育委員会の構成】

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	恒 川 英 志	令和 4 年10月20日～令和 7 年10月19日
教育長職務代理人	菅 英 一	令和 4 年10月 1 日～令和 8 年 9 月30日
教 育 委 員	二 宮 誠 一 郎	令和 3 年 2 月 6 日～令和 7 年 2 月 5 日
教 育 委 員	松 成 さ つ き	令和 5 年 6 月25日～令和 9 年 6 月24日
教 育 委 員	利 光 奈 美	令和 6 年 3 月26日～令和10年 3 月25日

2 教育委員会開催状況（詳細は「5 令和5年度教育委員会会議開催実績」による。）

教育委員会の会議は、毎月開催する「定例会」と必要に応じて開催する「臨時会」があり、令和5年度中は、定例会12回、臨時会2回を開催しました。

3 教育委員会審議状況（詳細は、「5 令和5年度教育委員会会議開催実績」による。）

法第25条の規定に基づき、令和5年度は27件の議案について審議しました。また、議案審議以外に40件の報告等についての協議を行いました。

4 教育委員会会議以外の活動状況（詳細は、「6 令和5年度教育長・教育委員活動実績」による。）

教育委員は、教育委員会の会議以外にも各種行事への参加、学校訪問、他団体との会議等様々な活動を行っています。

5 令和5年度 日出町教育委員会会議開催実績

開催日・会議名	議事・報告内容		結果
令和5年 4月4日(火) 第2回臨時会	議案	第13号 各種主任の承認について	承認
令和5年 4月27日(木) 第4回定例会	議案	第14号 日出町要保護・準要保護費目別支給額の改定について	承認
	報告	第11号 区域外就学について	
		第12号 令和5年度日出町奨学金認定状況について	
		第13号 令和5年度日出町教育委員会の事務分掌について	
令和5年 5月30日(木) 第5回定例会	議案	第15号 令和5年度一般会計補正予算（第1号）について	承認
	報告	第14号 指定校の変更について	
		第15号 初任者研修に係る提案授業の日程について	
		第16号 学校公開予定日について	
		第17号 校（園）内研究会の日程について	
		第18号 172回忌「帆足萬里」忌辰祭について	
令和5年 6月28日(水) 第6回定例会	議案	第16号 令和5年度日出町一般会計補正予算（第2号）について	承認
	報告	第19号 学校公開日の変更について	
		第20号 部活動の地域移行について	
令和5年 7月27日(木) 第7回定例会	議案	第17号 令和6年度使用小中学校教科用図書の採択について	承認
	報告	第21号 区域外就学について	
		第22号 指定校の変更について	
		第23号 大分県学力定着状況調査の結果について	
令和5年 8月24日(木) 第8回定例会	議案	第18号 令和5年度日出町一般会計補正予算（第3号）について	承認
		第19号 指定校の変更について	継続
	報告	第24号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について	
		第25号 第76回大分県民スポーツ大会について	
令和5年 9月28日(木) 第9回定例会	議案	第20号 指定校の変更について（継続案件を含む。）	承認
	報告	第26号 指定校の変更について	
		第27号 用途廃止財産の引継ぎについて	
		第28号 指定校の変更について	
		第29号 「おおいた教育の日」推進大会 in 九重町について	
		第30号 第76回大分県民スポーツ大会の結果について	
	第31号 第38回生涯スポーツフェスタについて		
令和5年 10月26日(木) 第10回定例会	議案	第21号 令和4年度教育に関する事務の管理及び執行について	承認
		第22号 部活動地域移行に関するアンケート結果概要について	承認
	報告	第32号 区域外就学について	
		第33号 令和4年度教育関係予算の決算について	

開催日・会議名	議事・報告内容			結果
令和5年 11月30日(木) 第11回定例会	議案	第23号	令和5年度日出町一般会計補正予算(第5号)について	承認
	報告	第34号	指定校の変更について	
		第35号	初任者研修に係る提案授業の日程について	
		第36号	令和6年新年祝賀互礼会について	
令和5年 12月19日(火) 第12回定例会	議案	第24号	令和5年度日出町一般会計補正予算(第6号)について	承認
	報告	第37号	指定校の変更について	
		第38号	令和6年日出町二十歳のつどい及び第41回日出町新春健康マラソン大会について	
令和6年 1月23日(火) 第1回定例会	議案	第1号	日出町教育委員会職員ハラスメント防止要綱の廃止について	承認
		第2号	日出町教育委員会職員ハラスメント防止規程の制定について	承認
	報告	第1号	区域外就学について	
		第2号	指定校の変更について	
		第3号	令和5年度初任者研修に係る提案授業の日程(小・中学校)について	
		第4号	令和6年日出町二十歳のつどいについて	
		第5号	第70回文化財防火デー日出町文化財防火訓練について	
		第6号	第41回日出町新春健康マラソン大会について	
		第7号	小・中学校、幼稚園卒業(園)式等の出席者割当について	
令和6年 2月22日(木) 第2回定例会	議案	第3号	令和5年度日出町一般会計補正予算(第7号)について	承認
		第4号	令和6年度日出町一般会計当初予算について	承認
	報告	第8号	区域外就学について	
		第9号	令和5年度日出町標準学力調査について	
令和6年 2月29日(木) 第1回臨時会	議案	第5号	県費負担教職員の人事異動の内申について	承認
令和6年 3月21日(木) 第3回定例会	議案	第6号	日出町公立文教施設使用規則の一部改正について	承認
		第7号	日出町立学校管理規則の一部改正について	承認
		第8号	日出町学校職員服務規程の一部改正について	承認
		第9号	教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部改正について	承認
		第10号	日出町立学校支援センターの組織及び運営に関する規程の一部改正について	承認
		第11号	日出町立学校職員旧姓使用取扱要綱の一部改正について	承認
		第12号	日出町教育委員会職員在宅勤務制度実施規程の一部改正について	承認

開催日・会議名	議事・報告内容		結果
令和6年 3月21日(木) 第3回定例会 (つづき)		第13号 指定校の変更について	承認
		第14号 令和6年度日出町学校教育指導方針について	承認
		第15号 日出町学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針について	承認
	報告	第10号 指定校の変更について	
		第11号 令和6年度日出町学校教育指導方針説明会について	
		第12号 「日出町総合型スポーツクラブひまわりのたね」における不適切な会計処理について	

6 令和5年度 教育長・教育委員活動実績

年月日	活動実績	活動場所
令和5年 4月3日(月)	新採用者・新任管理職辞令交付式	中央公民館
	年度初め式	日出町役場
	日出町転入者教職員説明会	中央公民館
4月4日(火)	日出町学校教育指導方針説明会	中央公民館
4月6日(木)	幼稚園臨時主任会	中央公民館
	第1回教務主任研修会	中央公民館
	第1回日出町学力向上推進委員会	中央公民館
4月12日(水)	中学校入学式	各中学校
4月13日(木)	小学校入学式	各小学校
4月14日(金)	幼稚園入園式	各幼稚園
4月17日(月)	第1回日出町幼稚園主任会	中央公民館
4月24日(月)	第1回大分県市町村教育長会議兼大分県教育情報化推進本部会議	大分市
	文化協会 第1回 理事会	中央公民館
4月25日(火)	町教育研究協議会運営委員会	教育会館
4月26日(水)	第1回校長会	中央公民館
5月1日(月)	第1回教頭会	中央公民館
5月10日(水)	令和5年度日出町教育研究協議会	中央公民館
5月12日(金)	別府教育事務所管内教育長会議	別府市
5月15日(月)	文化協会 令和5年度総会	中央公民館
5月16日(火)	教育委員会学校訪問	川崎小・川崎幼・大神小・大神幼
	別府地区社会人権・部落差別解消教育研究協議会総会	中央公民館
5月17日(水)	日出町子ども会育成会連絡協議会総会	中央公民館
5月18日(木)	令和5年度日出町スポーツ協会理事会	中央公民館
5月20日(土)	町内中学校体育大会	各中学校
5月23日(火)	令和5年度大分県市町村教育委員会連合会総会	九重町
	第1回日出町文化財保護委員会	中央公民館
5月24日(水)	教育委員会学校訪問	日出中・大神中
5月27日(土)	町内小学校運動会	各小学校
5月30日(火)	令和5年度日出町スポーツ協会総会	中央公民館
5月31日(水)	第2回校長会	中央公民館
	第1回社会教育委員の会	中央公民館
6月1日(木)	第2回教頭会	中央公民館
6月1日(木)	教育委員会学校訪問	豊岡小・豊岡幼・藤原小・藤原幼
6月2日(金)	令和6年第2回日出町議会定例会(～22日)	日出町役場
6月3日(土)	速見郡中学校総合体育大会	町内
6月5日(月)	大分県危機管理研修会	大分市
6月9日(金)	教育委員会学校訪問	日出小・日出幼
6月14日(水)	第2回日出町幼稚園主任会	中央公民館
6月16日(金)	第1回日出町スポーツ推進委員会	中央公民館
6月19日(月)	初任者研修・提案授業	豊岡小
6月21日(水)	初任者研修・提案授業	日出小

年月日	活動実績	活動場所
6 月 21 日 (水)	校内研究会	川崎小
6 月 27 日 (水)	園内研究会	豊岡幼
	第 2 回日出町中学校部活動地域移行検討委員会	中央公民館
6 月 29 日 (木)	別府教育事務所学校訪問	豊岡小・大神小・学校支援センター・藤原小
	令和 5 年度日出町スポーツ少年団総会	中央公民館
6 月 30 月 (金)	別府教育事務所学校訪問	日出中・日出小
7 月 2 日 (日)	第 16 回日出町選手権大会	町内
7 月 3 日 (月)	第 3 回校長会	中央公民館
	第 1 回日出町生徒指導総合連携推進委員会	中央公民館
7 月 4 日 (火)	別府教育事務所学校訪問	大神中・川崎小
7 月 5 日 (水)	校内研究会	豊岡小
7 月 10 日 (月)	初任者研修・提案授業	豊岡小
	園内研究会	大神幼
	第 3 回教頭会	中央公民館
7 月 11 日 (火)	初任者研修・提案授業	日出中
	校内研究会	日出中
7 月 12 日 (水)	初任者研修・提案授業	日出小
	園内研究会	日出幼
	日出町自治公民館連絡協議会総会	中央公民館
7 月 14 日 (金)	園内研究会	川崎幼
7 月 18 日 (月)	園内研究会	藤原幼
7 月 19 日 (火)	校内研究会	大神中
7 月 31 日 (月)	人権・部落差別解消教育研究大会	中央公民館
8 月 1 日 (月)	第 1 回日出町教職員研修会	中央公民館
8 月 3 日 (木)	第 14 回九州地区市町村教育委員会研修大会（～4 日）	佐賀市
8 月 7 日 (月)	文化協会 第 2 回 理事会	中央公民館
8 月 16 日 (水)	日出町人権教育啓発推進協議会総会	中央公民館
8 月 17 日 (木)	令和 5 年度大分県市町村教育長協議会総会	姫島村
8 月 18 日 (金)	第 4 回校長会	中央公民館
8 月 21 日 (月)	第 4 回教頭会	中央公民館
8 月 23 日 (水)	第 2 回日出町人権講座	中央公民館
	第 2 回日出町教職員研修会	別速杵築教育会館
8 月 24 日 (木)	県民スポーツ大会結団式	中央公民館
8 月 29 日 (火)	令和 6 年第 3 回日出町議会定例会（～22 日）	日出町役場
9 月 4 日 (月)	日出町学力向上推進委員会ワーキンググループ会議	中央公民館
9 月 9 日 (土)	第 76 回大分県民スポーツ大会総合開会式	大分市
9 月 10 日 (日)	第 76 回大分県民スポーツ大会	県内
9 月 11 日 (月)	第 76 回大分県民スポーツ大会総合閉会式	大分市
9 月 12 日 (火)	校内研究会	大神小
9 月 13 日 (水)	校内研究会	藤原小
9 月 14 日 (木)	小学校教科担任制推進教員公開授業	豊岡小
9 月 19 日 (火)	日出町学力向上推進委員会	中央公民館
9 月 22 日 (金)	第 5 回教頭会	中央公民館
9 月 25 日 (月)	令和 5 年度日出町スポーツ協会表彰審議会	中央公民館

年月日	活動実績	活動場所
9 月 26 日 (火)	第 5 回校長会	中央公民館
10 月 1 日 (日)	豊岡・藤原・川崎地区体育祭	各地区小学校
10 月 3 日 (火)	文化協会 第 3 回 理事会	中央公民館
10 月 8 日 (日)	生涯スポーツフェスタ	町内
10 月 15 日 (日)	第 16 回ザビエルの道ウォーキング大会	町内
10 月 17 日 (火)	第 3 回日出町中学校部活動地域移行検討委員会	中央公民館
10 月 22 日 (日)	日出地区 3 世代ふれあいまつり	中央公民館
10 月 28 日 (土)	2023 ひじ産業文化まつり (～29 日)	中央公民館
10 月 31 日 (火)	初任者研修・提案授業	日出中
11 月 1 日 (火)	「おおいた教育の日」推進大会	九重町
	初任者研修・提案授業	日出小
11 月 3 日 (金)	町子連子ども綱引き大会	町営体育館
11 月 6 日 (月)	初任者研修・提案授業	豊岡小
	第 6 回校長会	中央公民館
11 月 8 日 (水)	校内研究会	豊岡小
11 月 9 日 (木)	第 6 回日出町教頭会	中央公民館
11 月 12 日 (日)	豊岡地区ふるさとまつり	豊岡小
	藤原地区ふるさとまつり	藤原小
11 月 15 日 (水)	校内研究会	川崎小
11 月 16 日 (木)	校内研究会	大神小
11 月 20 日 (月)	校内研究会	藤原小
11 月 26 日 (日)	国東半島一周駅伝	町内ほか
	児童文化祭	中央公民館
11 月 28 日 (火)	第 4 回主任会	中央公民館
11 月 29 日 (水)	校内研究会	大神中
12 月 1 日 (金)	別府教育事務所学校訪問	大神小・大神中
12 月 2 日 (土)	日出町人権フェスティバル	中央公民館
12 月 3 日 (日)	川崎地区ふるさとまつり	川崎小
	大神地区ふるさとまつり	大神小
12 月 4 日 (月)	日出町心身障がい児教育支援委員会	中央公民館
	小学校英語専科教員公開授業	豊岡小
	令和 5 年第 4 回日出町議会定例会 (～22 日)	日出町役場
12 月 5 日 (火)	別府教育事務所学校訪問	豊岡小・日出小・川崎小
12 月 7 日 (水)	別府教育事務所学校訪問	藤原小・日出中
12 月 11 日 (月)	初任者研修・提案授業	豊岡小
12 月 12 日 (火)	初任者研修・提案授業	日出中
	文化協会 第 4 回 理事会	中央公民館
12 月 13 日 (水)	校内研究会	日出小
	初任者研修・提案授業	日出小
12 月 14 日 (木)	「人権の授業づくり」公開研	日出中
12 月 17 日 (日)	スポーツ少年団指導者研修会	中央公民館
12 月 20 日 (水)	第 2 回社会教育委員の会	中央公民館
12 月 21 日 (木)	第 7 回校長会	中央公民館
12 月 28 日 (水)	仕事納め式	日出町役場

年月日	活動実績	活動場所
令和6年		
1月3日(火)	川崎地区インディアカ大会	中央体育館
1月4日(水)	仕事始め式	日出町役場
	新年祝賀互礼会	中央公民館
1月7日(日)	二十歳(はたち)のつどい	中央公民館
1月20日(土)	文化財防火訓練	大神地区
1月21日(日)	第41回日出町新春健康マラソン大会	大神地区
1月23日(火)	初任者研修・提案授業	日出中
1月24日(水)	初任者研修・提案授業	日出小
1月25日(水)	初任者研修・提案授業	大神中
1月29日(月)	初任者研修・提案授業	豊岡小
1月31日(水)	第8回校長会	中央公民館
2月1日(水)	令和5年度九州都市教育長協議会第2回理事会	大分市
2月6日(火)	文化協会 第5回 理事会	中央公民館
2月8日(木)	第7回教頭会	日出中
2月9日(金)	日出町いじめ問題対策連絡協議会	中央公民館
2月16日(金)	日出町教育研究協議会定例会	中央公民館
2月18日(日)	第31回スポーツ少年団交流駅伝大会	大神地区
2月19日(月)	第2回日出町生徒指導総合連絡推進委員会	中央公民館
2月26日(月)	第3回学力向上推進委員会	中央公民館
	令和6年第1回日出町議会(～3月19日)	日出町役場
2月27日(火)	第9回校長会	中央公民館
	第4回日出町中学校部活動地域移行検討委員会	中央公民館
3月2日(土)	中学校卒業式	各中学校
3月4日(火)	第8回教頭会	中央公民館
3月8日(金)	別府管内教育行政連絡会第3回教育長会	別府市
3月12日(火)	第3回社会教育委員の会	中央公民館
3月13日(水)	日出町総合教育会議	日出町役場
3月15日(金)	幼稚園卒園式	各幼稚園
3月17日(日)	文化協会 芸術文化鑑賞イベント	中央公民館
3月19日(火)	文化財保護委員会	中央公民館
3月21日(木)	第3回図書館協議会	町立図書館
3月22日(金)	小学校卒業式	各小学校
3月26日(火)	文化協会 第6回 理事会	中央公民館
3月27日(水)	臨時校長会	中央公民館
3月28日(木)	豊岡地区婦人会総会	豊岡地区公民館
3月29日(金)	教育功労者感謝状授与式	中央公民館
	教職員退職者辞令交付式	中央公民館

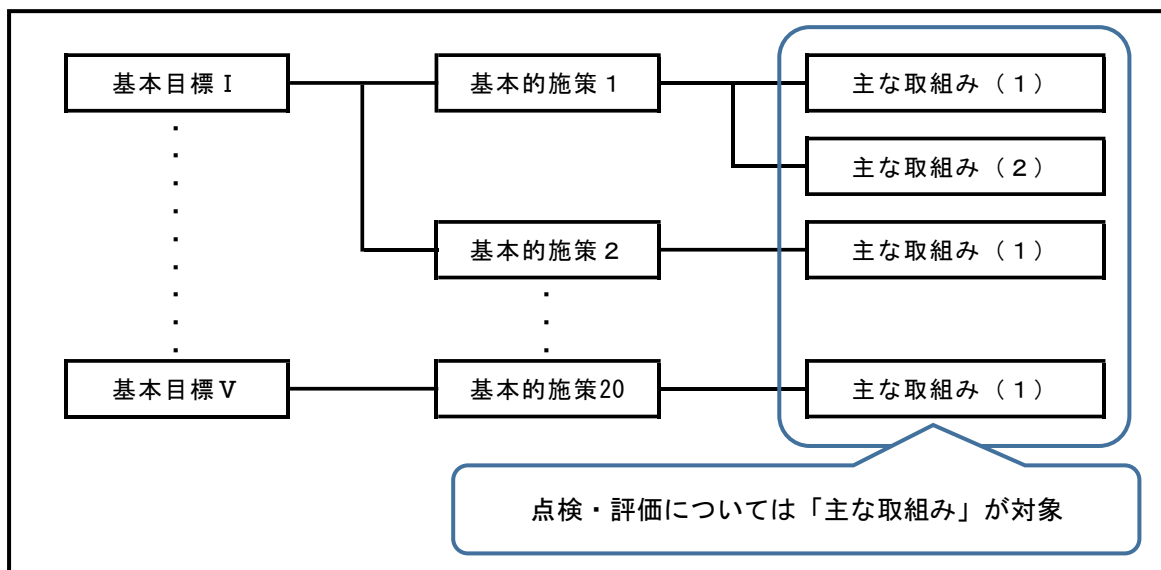
(注) 行政会議・各種実行委員会会議、学校公開日等の一部の行事・活動については、記載を省略しています。

Ⅲ 施策の点検・評価

1 点検・評価の対象

第2期教育振興計画（改訂版）は、「基本目標」、「基本的施策」、「主な取組み」で構成する施策体系であり、この点検・評価については、その中の「主な取組み」を対象として行うこととします。

【参考：第2期日出町教育振興計画（改訂版）の体系と自己評価の対象】



2 点検・評価の手順

「主な取組み」ごとに、「令和5年度の取組実績」とその中で得られた「成果」や「課題・目標」について、担当課が評価を行い、教育委員及び点検・評価第三者委員会委員の評価・意見を反映したものを総合的な評価とします。

なお、「評価」については、次の5段階によるものとします。

【評価基準とその内容】

5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
1	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

（注）教育委員及び第三者委員会委員の評価点数は、それぞれの委員の平均値（第3位を四捨五入）を小数点第2位までで記載していますが、全委員が同じ評価をしたものについては整数で記載しています。

IV 点検・評価第三者委員会

1 点検・評価第三者委員会委員の構成

【点検・評価第三者委員会委員】

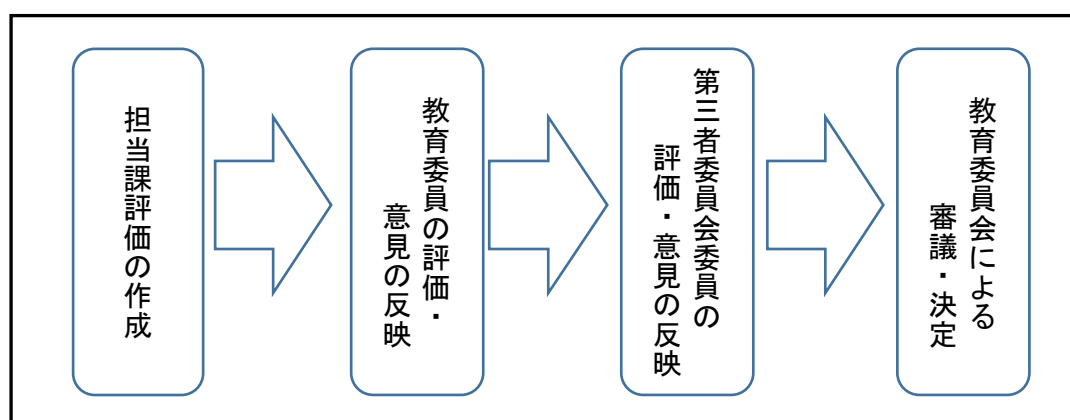
ふりがな 氏 名	任 期
かわの けんじ 河 野 健 二	令和5年9月1日～令和7年3月31日
さとう くみこ 佐 藤 久 美 子	令和5年9月1日～令和7年3月31日
はじ ますみ 土 師 真 寿 美	令和5年9月1日～令和7年3月31日

2 点検・評価第三者委員会会議の状況

- 第1回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会
日 時 令和6年9月4日（水）午後2時00分～
場 所 日出町中央公民館 2階 第3会議室
議 事 1 基本的施策別内部評価の報告
2 点検・評価報告書の作成スケジュールについて
- 第2回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会
日 時 令和6年10月7日（月）午後2時00分～
場 所 日出町中央公民館 2階 第3会議室
議 事 1 第三者委員会委員意見とりまとめについて
2 点検・評価報告書の作成スケジュールについて

V 点検・評価報告書の作成

この点検・評価報告書の作成プロセスは次のとおりです。



VI 点検・評価の報告

全42の「主な取組み」について、それぞれ作成した「点検・評価シート」により点検・評価を報告します（点検・評価シートは次ページ以降による。）。

【参考：点検・評価シートの構成】

基本目標	V 人権を尊重する社会づくり						
基本的施策	20 社会教育における人権・同和教育の推進					教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記	
主な取組	(2) 日常の様々な場面での効果的な人権教育と啓発 ○住民が人権課題に対して人権の大切さに触れることができるよう、情報発信に努めます。						
実施事業	広報誌 人権コラム、人権だよりの発行、ホームページ・SNSでの発信					担当課が令和4年度の取組実績やその成果を記載	
令和5年度の取組実績	○人権だより「じんけん」の発行（5回） ○広報ひじ人権コラム「こころのまど」の掲載（4回） ○人権フェスティバルにおける、小中高生の人権作品の展示						
成果	○社会情勢に応じた人権トピックスを掲載し、多様な人権に触れる機会を創出 ○児童・生徒の人権作文を掲載し、幅広い年代に対し人権を考える機会を創出						
課題・目標	○読みやすいよう、レイアウトや記事内容を検討する。 ○多くの人権作品の応募があるよう、募集を工夫する。 ○人権だより「じんけん」等をホームページに掲載し、広報を充実させる						
数値目標	広報紙・町ホームページでの啓発の回数（年間）（回）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記	
	目標	6	14	17	19		
	実績	6	14	28	20		
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上っている。				担当課の評価点数とその理由を記載
教育委員評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上っている。				
	■「人権だより」や「人権コラム」などいろいろな人権にかかわる情報発信の意義は大きい。受け手の人権意識の高まりにつながっていくことが大切だと感じる。						
	■ 広報紙や町ホームページで目標回数を上回る啓発活動を行っている。身近な事例等について考える機会を創出することが効果的であり、今後とも様々な媒体を活用して啓発に努める。						
	■啓発回数は伸びているが、さらに人権の大切さを広めるために特に必要。SNSを利用し、頻繁な更新（LINE等）を検討してほしい。広報紙に触れる機会が少ないと考えられる。						
第三者委員会委員評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上っている。				第三者委員会委員の評価と意見を記載
	◆人権の大切さを、こどもたちが、確かに気づき、自分がその課題に取り組んでいくのと言えるようになってほしい。 ◆前年に比べ実績の啓発回数が減っている。多くの住民に人権問題について知らんでもらえるよう努めてもらいたい。						
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上っている。				【担当】社会教育課
教育委員会としての総合評価を記載							この取組の担当課を記載

教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記

担当課が令和4年度の取組実績やその成果を記載

教育振興計画（改訂版）の記載事項を転記

担当課の評価点数とその理由を記載

教育委員の評価と意見を記載

第三者委員会委員の評価と意見を記載

教育委員会としての総合評価を記載

この取組の担当課を記載

教育委員及び第三者委員会委員の評価点数は、それぞれの委員の平均値（第3位を四捨五入）を小数点第2位までで記載していますが、全委員が同じ評価をしたものについては整数で記載しています。

基本目標	Ⅰ 学校・幼稚園教育の充実																											
基本的施策	1 確かな学力の向上																											
主な取組	(1) 各種学力調査結果の分析と活用 ○大分県・全国および日出町の各種学力調査の分析を日出町全体と各校で実施します。その結果を踏まえ、「日出町学力向上推進委員会」や各校の「学力向上会議」等で取組を検証し、学校の実態に則した改善策を推進します。																											
実施事業	全国学力・学習状況調査、大分県学力定着状況調査、日出町標準学力調査																											
令和5年度の取組実績	○「めあて」・「振り返り」・「課題」・「まとめ」の設定を行った授業をほぼ全員が行った。 ○生徒指導の3機能を意識した授業展開もほぼ全員が工夫を行った。																											
成果	○小学校5年生は、町学力調査で、全教科で全国平均を上回った。 ○考えたことや分かったことを表現する問題に課題がみられる。 ○中学校では社会の「歴史領域」の力が高い。																											
課題・目標	○学習したことを基に、自分の考えをもち表現しあう活動を重視する必要がある。 ○各学年の基礎的な教育内容の定着を重視していく必要がある。 ○校種間の授業のつながりに改善の余地がみられる。																											
数値目標	国・県・町主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合(%) <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td><td>90</td></tr><tr><td>実績</td><td>90</td><td>87.1</td><td>63.6</td><td>90.6</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	90	90	90	90	90	90	実績	90	87.1	63.6	90.6	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	90	90	90	90	90	90																						
実績	90	87.1	63.6	90.6	－	－																						
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	各学年とも、前年度より学力調査結果の改善がみられるとともに、学習意欲も向上している。																											
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	■前年度の分析結果から課題を把握し、その解決に向け授業改善が進んで成果があらわれている。 ■学力調査における全国平均以上の教科の割合は、前年実績及び目標値を上回っている。また、各学年とも学習意欲が向上しているとのことで、取り組みの成果が出ている。 なお、学力を向上させるには、学ぶことの楽しさを実感させ主体的に学習に取り組む態度を育てることが重要であるから、点数至上主義によって児童生徒を勉強嫌いに追い込むようなことがないように今後とも配慮願いたい。 ■実績が以前の結果に戻ったことは、学力向上への取り組みの結果だと思われる。生徒一人一人が、今回の結果を基に理解できてなかったことを学び直すいい機会にしてほしい。 ■学力調査における数値目標は達成しており、考えたことや分かったことを表現する問題への対策を講じていただきたい。																											

第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆前年度より大きく割合があがっており、成果が出ていると思う。今後は、課題解決力や応用力をつける手立てや指導に力を入れたい。</p> <p>◆目標値を上回ることができたが、今後は課題に対しての具体的な取り組みをお願いしたい。</p> <p>◆今年、全教科で全国平均を上回った小5は、小4の時、全国平均より下だったと説明を受けた。昨年の小5と比べるのではなく、同じ子どもたちを継続して成長を追っていることが素晴らしいし、学力向上にもつながったのだと思う。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																										
基本的施策	1 確かな学力の向上																										
主な取組	(2) 研修への参加と授業改善 ○各種研修への参加による教師の授業力向上と研修成果を生かした授業改善に取り組みます。また、付けたい力を明確にし、確かな見取りと特別な配慮を必要とする児童生徒への具体的な手だてを講じた授業実践にも力を入れます。																										
実施事業	未来を創る学力向上支援事業（県教育委員会）																										
令和5年度の取組実績	○日出町内の教職員による公開授業を開催し、参加を推奨した。 ○学校内で、互見授業を実施した。 ○管理職・ミドルリーダーによる授業参観を行った。																										
成果	○全教員による互見授業を、すべての学校で実施した。 ○管理職・ミドルリーダーによる毎日の授業観察を6校が行った。1校は毎日ではないが実施した。 ○経験年数10年未満の教員の100%が公開授業等に参加した。																										
課題・目標	○授業公開の幅を広げ、さらなる参加率の向上を目指していく。 ○校種や教科の枠を超えた公開授業への参加を推奨していく。 ○教員の研修の機会の確保と効率的な実施の工夫を続けていく必要がある。																										
数値目標	<div>教科担任制推進教員、習熟度別指導推進教員、英語専科教員、授業料向上アドバイザー等による町主催の公開授業に1回以上参加した教員の割合（％）</div> <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>70</td><td>75</td><td>80</td><td>90</td><td>90</td><td>100</td></tr><tr><td>実績</td><td>70</td><td>55.5</td><td>63.7</td><td>64.4</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	70	75	80	90	90	100	実績	70	55.5	63.7	64.4	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	70	75	80	90	90	100																					
実績	70	55.5	63.7	64.4	－	－																					
担当課評価・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	目標設定時はすべての教員が1回以上公開授業に参加するようにしているが、現在は、経験年数10年未満は必須、そのほかは校内を中心に参加するなど取組を整理したため実績値が上がっていない。																										

教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>■小中学校とも、学校規模によって研修の持ち方や参加体制が異なると思う。一律でなくとも無理なく有意義な研修を進めてほしい。</p> <p>■町主催の公開授業に1回以上参加した教員の割合は、前年に引き続き目標に対して低い実績となっている。</p> <p>経験年数10年未満の教員を全員参加させた一方で、経験年数10年以上の教員に対してはこれに代えて他の有効な取り組みを行っているのであれば、その取り組みの成果が併せて反映されるように数値目標の内容を見直すべきである。</p> <p>■公開授業はいろんな年代の教員の参加が望ましいと思う。経験年数が少ない教員が先輩教員等からの助言をもらい、授業の改善を図れる良い機会だと考える。</p> <p>■校内の互見授業は実施できているので、校外の公開授業に参加する意識づけと環境づくりをお願いしたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	2.67	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆若い先生が先輩の先生の授業を見ることは大変勉強になると思う。自分の授業力向上に役立つと思う。目標値に達しないのは、基準値の設定が起因しているとも考えられる。</p> <p>◆経験年数10年未満の教員の参加率は100%で評価できるが、目標値には大きく届いていない。教員相互のスキルの向上に向け努力してもらいたい。</p> <p>◆先生方はとても多忙だし、子どもと向き合う時間の確保も大切だと思う。取り組みを整理しているとのことなので来年に期待している。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実
基本的施策	2 豊かな人間性の育成
主な取組	<p>(1) 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性」を育てる取組</p> <p>○生徒指導の3機能(「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育成する」)を意識した授業展開や特別活動の工夫を図ります。</p> <p>○「特別の教科 道徳」の時間を要とし、自然体験や社会体験など、豊かな人間性や社会性を育む多様な体験活動の充実に取り組みます。</p>
実施事業	—
令和5年度の取組実績	<p>○「日出町教職員研修会」において「道徳科の授業づくり」研修を行った。</p> <p>○町内全体で、「人権の授業づくり」に関する校内研修、公開研究会を開催した。</p> <p>○「人間関係づくりプログラム」に関する研修や実践に全小・中学校で取り組んだ。</p>
成果	<p>○道徳教育・人権教育の工夫や人間関係づくりプログラムの取組が全小・中学校で行われた。</p> <p>○「児童生徒の良いところを見つけて評価する(ほめる)」ことを100%の学校で「よく行っている」。(県・国に比べて大幅に高い)</p> <p>○「自分にはよいところがある」と回答する子どもは、小学校では県・国平均並み。</p>
課題・目標	<p>○「自分にはよいところがある」と回答する子どもが、中学校では県・国よりやや少ない。</p> <p>○人権教育に関する実践交流や授業参観の取組を進めていく必要がある。</p> <p>○「人間関係づくりプログラム」に関する研修や実践に継続して力を入れていく。</p>

数値目標	(小・中学校別)「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合(%)							
		年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	小	目標	75.7	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
		実績	75.7	75.7	74.3	82.5	－	－
	中	目標	72.8	77.0	77.0	77.0	77.0	77.0
実績		72.8	72.8	79.5	75.5	－	－	
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。					
	中学校の実績が上がっていない。中学校では、改善した取組を進めている最中なので、今後の効果に期待しつつ取組を推進したい。							
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。					
	■引き続き、グループエンカウンターや生徒指導の3機能を意識した活動を日常的に継続して進めてほしい。 ■小学校では「自分にはよいところがある」と回答した子どもの割合が前年よりも増加し、目標値を超えている。 一方で、中学校では前年よりも減少して目標値を下回っており、さらなる取り組みが必要である。 ■子どもをほめる行為は、本人の自己肯定感を高めるうえで大切なことで、大変評価できる。また、日出中では「人間づくりプロジェクト」を生徒が進めていると聞くので、今後の意識の改善に期待したい。 ■教育活動全体において、自己肯定感が高まるような取り組みを実践していただきたい。							
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。					
	◆自己肯定感もほぼ、多くのこどもが持ち得ていると思う。また、中学生の人権作文を読むと、最近のSDGsの事やLGBTQ等の問題や様々な人権問題について意見をしっかり持って理解しようとしている。 ◆中学校における実績が前年より下回っており、目標値にも届いていない。改善した取組を継続し、肯定感が上がるよう引き続き努力してもらいたい。 ◆中学校では職場体験が復活したり、改善した取組を進めていて手ごたえがあると聞き、今後に期待している。							
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。					

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実
基本的施策	3 健康・体力づくりの推進
主な取組	<p>(1) 授業改善と組織的な体力向上の取組</p> <p>○運動量の確保と「わかる」「できる」「楽しい」授業を実践します。</p> <p>○運動の愛好度を高めるために、組織的な体力向上の取組を行います。</p>
実施事業	大分県体力・運動能力等調査、体力アップおおい推進事業

令和5年度の取組実績	○運動量の確保と「わかる」「できる」「楽しい」授業の実践を目指した研修 ○体育専科教員を各小学校に配置し、一緒に指導をしながら担任の指導力アップを図る。 ○日出町体育実技講習会を開催し、学校体育における指導の充実を図る。																																																																								
成果	○全ての項目（年代・男女）で、昨年度の実績を上回った。運動愛好度も高い。（91.85%） ○「体力向上プラン」「一校一実践」の実施・改善等が各学校で組織的にできている。 ○体育専科教員による実技講習会や公開授業にすべての学校から参加をし、授業力向上に努めている。																																																																								
課題・目標	○1人1台端末を活用した体育授業の推進。 ○持久力、走力に課題が見られる。																																																																								
数値目標	<p>（小・中学校別）新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合（％）</p> <table><tr><td></td><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td rowspan="4">小</td><td>目標(男)</td><td>79.0</td><td>79.0</td><td>81.0</td><td>81.0</td><td>82.0</td><td>82.0</td></tr><tr><td>実績(男)</td><td>79.0</td><td>73.2</td><td>76.1</td><td>78.6</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>目標(女)</td><td>83.0</td><td>83.0</td><td>84.0</td><td>84.0</td><td>85.0</td><td>85.0</td></tr><tr><td>実績(女)</td><td>83.0</td><td>82.7</td><td>83.8</td><td>82.3</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="4">中</td><td>目標(男)</td><td>73.0</td><td>73.0</td><td>78.0</td><td>78.0</td><td>80.0</td><td>80.0</td></tr><tr><td>実績(男)</td><td>73.0</td><td>70.5</td><td>65.6</td><td>75.2</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>目標(女)</td><td>84.0</td><td>84.0</td><td>85.0</td><td>85.0</td><td>87.0</td><td>87.0</td></tr><tr><td>実績(女)</td><td>84.0</td><td>84.0</td><td>75.9</td><td>84.2</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>								年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	小	目標(男)	79.0	79.0	81.0	81.0	82.0	82.0	実績(男)	79.0	73.2	76.1	78.6	－	－	目標(女)	83.0	83.0	84.0	84.0	85.0	85.0	実績(女)	83.0	82.7	83.8	82.3	－	－	中	目標(男)	73.0	73.0	78.0	78.0	80.0	80.0	実績(男)	73.0	70.5	65.6	75.2	－	－	目標(女)	84.0	84.0	85.0	85.0	87.0	87.0	実績(女)	84.0	84.0	75.9	84.2	－	－
	年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																																																																		
小	目標(男)	79.0	79.0	81.0	81.0	82.0	82.0																																																																		
	実績(男)	79.0	73.2	76.1	78.6	－	－																																																																		
	目標(女)	83.0	83.0	84.0	84.0	85.0	85.0																																																																		
	実績(女)	83.0	82.7	83.8	82.3	－	－																																																																		
中	目標(男)	73.0	73.0	78.0	78.0	80.0	80.0																																																																		
	実績(男)	73.0	70.5	65.6	75.2	－	－																																																																		
	目標(女)	84.0	84.0	85.0	85.0	87.0	87.0																																																																		
	実績(女)	84.0	84.0	75.9	84.2	－	－																																																																		
担当課評価・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																																																																						
	3項目で昨年度より実績値が向上したが、目標値にはすべての項目で到達していない。授業改善に係る研修をさらに充実していく。																																																																								
教育委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																																																																						
	<p>■一校一実践を学校全体で共有して体力作りが進められており、少しずつ目標数値に近づいてきている。</p> <p>■新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合は、小・中学校男女のいずれも目標値を下回っている。長引いたコロナ禍によって集団での運動や遊びが制約され、子どもたちの運動量が減少したことの影響があるものと懸念され、さらなる運動量の確保を図る必要がある。</p> <p>なお、児童生徒の運動への愛好度を高めるために、体力的、心理的に過度のストレスを与えないよう、個々の体格差や体力差に配慮した指導を望む。</p> <p>■目標値には達していないがほとんどが前年を上回っており、運動愛好度も高いことから今後の結果に期待したい。</p> <p>■各学校で組織的にできている「体力向上プラン」「一校一実践」を継続し、体力向上を目指していただきたい。</p>																																																																								
第三者委員会委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																																																																						
	◆逆にC未満のこどもの底上げに視点を当て注力すれば、目標達成できることになるので、体育専科教員を中心に改善していけば良いと思う。																																																																								

第三者委員会 委員 評価・意見 (つづき)	◆以前はコロナ禍で運動の機会が減っていたので、前年より実績値は上がってはいるが、目標値には届いていない。今後更に体育専科教員等を活用し、個々の体力や体格に応じた取り組みをお願いしたい。 ◆体育専科教員の配置はとても効果的なことが分かった。 ◆持久力・走力に課題があるそうだが、豊岡小では車で送る場合の歩く最低距離を決めていて、その日々の積み重ねが体力向上につながると思う。		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																											
基本的施策	3 健康・体力づくりの推進																											
主な取組	(2) 健康教育の推進 ○全学校で、栄養教諭と連携した食育の授業やフッ化洗口、発達の段階に応じた薬物乱用教育を組織的に行います。																											
実施事業	体力アップおおいた推進事業、(終了) スクールヘルスサポート事業																											
令和5年度の取組実績	○体力向上推進委員会を年2回以上、食育担当者会を1回以上開催する。 ○食育担当者会では、栄養教諭の活用の促進を図る。																											
成果	○栄養教諭を活用した食育の授業をすべての学校で実施した。 ○栄養教諭による、給食時間を活用した短時間指導が定着した。 ○県教委栄養教諭部会作成の食育動画など、ICTを活用した指導が充実している。																											
課題・目標	○朝食摂取率が高いので、令和5年度より「しっかり食べる」ことを目標にした。 ○栄養教諭が2人から1人になったので、計画や打合せ等の効率化が必要である。																											
数値目標	栄養教諭と連携した食育の授業を実施した学校の割合 (%) <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																						
実績	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-																						
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	栄養教諭の活用が定着し、指導内容も充実してきた。今後も取組を推進していく。																											
教育委員 評価・意見	評価	4.25	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																									
	■栄養教諭が1名となったが、これまでの取り組みレベルを維持して指導してほしい。 ■心身ともに発達・発育が著しい小・中学生期に望ましい食習慣を身に付けるべく、全ての学校で食育の授業が実施されている。 好ましい生活習慣を身に付けることなど、幅広い健康教育が推進されることを望む。 ■策定当初よりすべての学校で食育の授業を行い、指導内容が定着してきていることは素晴らしいと思う。今後は、更なる食育指導により、子ども達が食の正しい知識を得て、健康的な食生活ができるように取り組んでほしい。 ■栄養教諭を活用した食育授業の実施を継続していただきたい。																											

第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	◆栄養教諭が1人になっても、目当てがしっかり達成できたことは立派である。今後もこどもたちの食育を大切にしたい。 ◆今後も引き続き栄養教諭を活用した取り組みを継続してもらいたい。		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																										
基本的施策	4 グローバル人材の育成																										
主な取組	(1) 外国語教育の推進 ○今後も継続して小・中学校にALTを配置し、外国語教育の充実を図ります。また、研修等を通して、小学校教員の英語指導力の向上を図ります。																										
実施事業	外国語指導助手導入事業																										
令和5年度の取組実績	○4人のALTを配置・活用することができた。 ○JETプログラムコーディネーターを配置し、活用計画等の統括を行った。 ○専科教員や推進校での公開授業を開催した。																										
成果	○全ての小学校で、英語専科教員やALTを活用し、授業や研修を通して英語指導力の向上を図っている。 ○小学校の授業を中学校教員も参観し、小中連携の視点で意見交流等を行った。																										
課題・目標	○ALTの自己都合による離任に伴い、急な配置ができず欠員が生じている。8月には解消 ○中学生は、ALTとの授業が楽しい(98.4%)一方、英語の勉強が好きな生徒が少ない。(48.2% 全国的傾向) ○中学校での効果的な活用について、さらに工夫を行う必要がある。																										
数値目標	ALTとの授業が「楽しい・とても楽しい」と応える児童の割合(%) <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>(目標値) R7</td></tr><tr><td>目標</td><td>92.0</td><td>92.0</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>92.0</td><td>95.0</td><td>95.0</td><td>95.0</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>						年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	R6	(目標値) R7	目標	92.0	92.0	92.0	93.0	93.0	94.0	実績	92.0	95.0	95.0	95.0	-	-
年度	(基準値) R2	R3	R4	R5	R6	(目標値) R7																					
目標	92.0	92.0	92.0	93.0	93.0	94.0																					
実績	92.0	95.0	95.0	95.0	-	-																					
担当課評価・理由	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																								
	ALTとの授業の満足度がとても高く、児童生徒の意欲につながっている。日常的なALT活用が、日出町の子どもたちにとって、外国語や外国の文化への慣れ親しみにつながっている。																										
教育委員評価・意見	評価	4.25	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■楽しそうに授業に取り組んでいる子どもたちの姿から、外国語への親しみが年々増しているのを感じる。4人のALT配置が効果をあげている。 ■学校公開等で小学生が楽しく英語の授業を受けているのを見ると、中学になってもこのまま英語が好きでいてほしいと思う。聞く力や話す力を小学校で身に着けることができれば、中学の勉強も好きになるのではないかな。																										

教育委員 評価・意見 (つづき)	<p>■小学校における外国語教育で大切なことは、外国語や外国の文化等に親しんでコミュニケーションへの関心や意欲を高めることであるから、前年度に引き続いて児童の95%がALTによる指導を楽しんでいると感じていることは好ましい。</p> <p>一方で、英語の勉強が好きな中学生が少ない現状に対して、有効な手立てを講じていく必要がある。</p> <p>■ALTの充実した活用により高い授業満足度となっている。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.33	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆ALTとの授業が楽しく感じている子が多いことは良いことだと思う。反面、英語の勉強が好きな子が極端に少ないこと（全国的）は、そのギャップはなぜなのか気になる。</p> <p>◆ALTの活用効果は評価できるが、中学校における英語の勉強が好きになる工夫を努力してもらいたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																										
基本的施策	5 特別支援教育の充実																										
主な取組	(1) 早期からの相談支援体制の充実 ○「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、効果的な活用を図ります。 ○校内、校種間の連携を強化します。																										
実施事業	支援の必要な児童生徒の「個別の指導計画」の作成																										
令和5年度の取組実績	○特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成 ○通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒についても、「個別の指導計画」の作成																										
成果	○各計画の作成が確実に行われ、指導への活用が定着してきた。 ○別府教育事務所「個別の指導計画」作成推進教員を活用し、研修を深めた。 ○就学・進級に係る教育相談を受け、必要な支援の検討等を早期に進めた。																										
課題・目標	○より子どもの状況に即した「個別の指導計画」の作成・活用のための研修の充実 ○全教職員の共通理解に基づいた特別支援教育の充実のための研修等の推進 ○通常の学級における特別の支援が必要な児童生徒への支援の充実																										
数値目標	<div>「個別の支援計画」の作成率と年1回以上の見直し (%)</div> <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																					
実績	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－																					
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	「個別の指導計画」の作成は進んでいる。今後はよりよい計画の作成と活用が課題。																										
教育委員評価・意見	評価	4.25	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■幼・小・中の中で、また保護者との間で教育相談活動が、広がり深まってきている。指導計画や支援計画の充実につながっていると感じる。																										

教育委員 評価・意見 (つづき)	<p>■特別支援学級に在籍する児童生徒のみならず、通常学級に在籍している特別な支援を要する児童生徒についても「個別の指導計画」を作成し、きめ細かな指導が行われていることは好ましい。家庭との連携が困難なケースもあると思われるが、この取り組みが継続されることを望む。</p> <p>■策定時から個々毎の支援計画が作成・見直しがされているため、次の取り組みではそれを活用しながら、フィードバックし、よりよい支援を行ってほしい。数値目標が達成されているので、もう一段階上の目標を内々で設定してはどうか。</p> <p>■「個別の指導計画」の作成ができていますので、内容の充実を図っていただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4.33	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆支援学級や通常学級にいる支援を要するこどもの「個別の指導計画」や「個別的教育支援計画」は、実態をよく把握して、その子のこれからの成長のため、きめ細やかな支援計画を立て実践していく唯一無二の物である。さらに発達状況をみきわめ、加除、修正をしながら、進めていくということで見直しが下がる。</p> <p>◆今後も引き続き個々に応じた支援を継続してもらいたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	I 学校・幼稚園教育の充実																										
基本的施策	6 幼児教育の充実																										
主な取組	<p>(1) 幼児期にふさわしい教育・体験活動の提供 幼保小連携による小学校教育活動への円滑な移行</p> <p>○幼児期にふさわしい教育、体験活動を実施するために、教員は研修研鑽に努めます。また、園での活動が子どもたちの実態にあったものとなるよう教育課程の見直しを適宜行います。</p> <p>○幼稚園やこども園、保育所と小学校との連携強化を図るため、研修会や情報交換会等を実施し、子どもたちの情報共有や相互理解を行います。</p>																										
実施事業	幼保小連携推進事業 幼稚園園内研修																										
令和5年度の取組実績	<p>○幼保小連携推進協議会の開催（校区ごと計5回、町全体で1回）</p> <p>○園内研修や協議会、こども園公開保育での研修</p> <p>○幼稚園主任会において「教育課程見直しの意義」についての短時間研修実施</p>																										
成果	<p>○幼保小の連携について、意識が向上した。</p> <p>○大分県幼児教育振興プログラムに沿った、教育課程の見直し・検討が進んできている。</p>																										
課題	<p>○保育と両立できる効率的な研修時間の設定</p> <p>○若い幼稚園教員の研修機会の確保</p> <p>○小学校との情報共有やカリキュラム内容の交流。</p>																										
数値目標	<p>小学校とのつながりを意識した接続期の教育課程の見直しを行った回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>(基準値) R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>(目標値) R 7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>2.2</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>3.0</td><td>4.0</td><td>4.0</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>2.2</td><td>2.3</td><td>2.3</td><td>4.0</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	2.2	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0	実績	2.2	2.3	2.3	4.0	-	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	2.2	3.0	3.0	3.0	4.0	4.0																					
実績	2.2	2.3	2.3	4.0	-	-																					

担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	大分県幼児教育振興プログラムに沿った、教育課程の見直し・検討の意義を再認識することで、教育課程の活用が進んできている。		
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■各園の実態にそった研修を深めながら、幼・保・小の連携を更に進めてほしい。</p> <p>■幼保小連携協議会を通じて幼稚園等と小学校間の連携強化が図られていることは好ましい。小学校教育活動への円滑な移行に資するため、今後とも園児に関する情報共有や相互理解の充実を図る必要がある。</p> <p>なお、町立幼稚園はいずれも教職員数が少なく、園外で実施される研修に参加することは容易ではないが、それに代わる研修機会を確保していかなければならない。</p> <p>■前年より、幼・保・小・こども園の連携に向けての取り組みが活発になってきている。今後も、子ども達が小学校生活に順応できるように、情報交換を密にし、相互理解を深めてほしい。</p> <p>■幼・保・小の連携についての意識が向上したことが目標達成に繋がっている。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆日出町の幼稚園教育は、研修も実践も真面目に取り組み、とても充実していると思う。</p> <p>◆幼・保・小との連携を更に深めてもらいたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																										
基本的施策	7 子どもの学びの保障																										
主な取組	(1) 「不登校」の未然防止・早期対応 ○未然防止、早期発見に向けて、児童生徒一人一人の状況に応じた適切な指導・援助、「人間関係づくりプログラム」の推進による「心の居場所づくり」に努めます。 ○教育支援センター（「フレンドリー広場」）において、一人一人の状況に応じたきめ細かな解決支援を行います。																										
実施事業	－																										
令和5年度の取組実績	○短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の全小・中学校での実施 ○「児童生徒支援対策プラン」の作成、それに基づく組織的な対応 ○SC、SSW、地域児童生徒支援コーディネーターとの連携による支援体制強化																										
成果	○「人間関係づくりプログラム」に関する研修と内容の検討を全小・中学校で実施 ○児童生徒全員を対象とした教育相談を全ての学校で実施 ○不登校児童生徒の出現率が下降した。																										
課題・目標	○新規不登校生は、中学校では減少したが、小学校では増加した。 ○中学校進学時に小・中学校の連携による適切な支援が必要 ○小学生の新規不登校については、全国的傾向である。研究と考察が必要																										
数値目標	不登校児童生徒の出現率（％） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.9</td><td>2.0</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	実績	2.0	2.0	2.9	2.0	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0																					
実績	2.0	2.0	2.9	2.0	－	－																					
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	不登校児童生徒の出現率が、指標設定以降初めて下降した。教育支援センター・登校支援員・学校・専門職等との連携が進んできた。																										
教育委員評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■不登校の原因が多様化してきている。出現率は下がったが、今後も各機関とのつながりを深めて粘り強い対応が望まれる。 ■不登校児童生徒の出現率は前年度よりも改善されている。 不登校の未然防止及び解消のため、今後とも児童生徒一人ひとりの状況に応じた適切な対応を望む。 ■小学校低学年、高学年、中学生では不登校の原因が異なってくるため、それぞれに対応した支援が必要。今回の結果では、小学校の不登校児童が増加しているため、早期対応に向け関係機関とのさらなる連携を行ってほしい。 ■「児童生徒支援対策プラン」に沿った組織的な対応により不登校児童生徒の出現率が下降している。																										
第三者委員会委員評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	◆不登校児童、生徒が学校に行けなくなる原因は、様々な要因がある。けれどもそれで、友だち、学校、社会から分断し孤立することは、避けないといけない。フレンドリー広場は、そのようなこどもを受け入れ、居場所となり、学校や友だちとも連携を取りながら、復帰に向けて取り組むことは大切である。																										

第三者委員会 委員 評価・意見 (つづき)	<p>◆教員の負担は大きいと思われるが、小学生の新規不登校について、関係機関と連携し、取り組みを強化してもらいたい。</p> <p>◆学びの多様化学校が必要とされる今、教室、学校にとらわれることなく、フレンドリー広場などで一人一人の状況に応じたきめ細かな支援を今後も続けてほしい。また、その啓発も必要だと感じる。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																										
基本的施策	7 子どもの学びの保障																										
主な取組	(2) 「いじめ」の未然防止・早期発見・早期対応 ○全教職員が、いじめは絶対に許さないという共通認識を持ち、未然防止のための「人間関係づくりプログラム」を推進するとともに、早期発見・解消に向けた組織的な取組、関係機関との連携を図ります。																										
実施事業	－																										
令和5年度の取組実績	○短時間で継続的に行う「人間関係づくりプログラム」の実施 ○「児童生徒支援対策プラン」の作成、それに基づく組織的な対応 ○いじめに関する年3回のアンケートの調査結果の分析と結果の活用																										
成果	○「人間関係づくりプログラム」に関する研修と内容の検討を全小・中学校で実施 ○児童生徒全員を対象とした教育相談を全ての学校で実施 ○各学校の教育相談コーディネータに対する研修の実施																										
課題・目標	○小学校のいじめ解消率の低下 ○いじめ見逃しゼロと、発生した事案の解消に向けた丁寧な指導支援 ○発生後3カ月たっても解消されていないケースに対する対応																										
数値目標	<div>いじめ事案に対する解消率（％）</div> <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>88.8</td><td>90.0</td><td>90.0</td><td>90.0</td><td>90.0</td><td>90.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>88.8</td><td>87.9</td><td>72.5</td><td>78.8</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	88.8	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	実績	88.8	87.9	72.5	78.8	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	88.8	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0																					
実績	88.8	87.9	72.5	78.8	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	いじめ事案の解消率が上がっていない。状況の丁寧な分析・考察と解消への確実な取組とともに、「人間関係づくりプログラム」のより有効な実施をはじめとする未然防止の強化が必要。																										
教育委員 評価・意見	評価	3.25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■今後も、アンテナを高くして児童・生徒の日常生活を見取っていく努力を続けてほしい。 ■いじめ事案解消率の目標値は、発生から3か月以上経過しても解消していない事案を未解消事案とする想定の下で設定していると思われるが、実績値では発生から3か月以内の事案も未解消事案に含めて算出されていることから、目標値に比べて低い数値となっており、実情が正しく反映されていない。目標値、実績値とも同じ方法で算出し、実情を正しく反映するべきである。																										

教育委員 評価・意見 (つづき)	<p>■ 1対1では仲良くしているが、複数対1人になるといじめられた事案があった。いじめに関するアンケート実施も大切だが、声を上げられない児童・生徒には周りの大人の早期の気づきが重要となってくる。</p> <p>■ いじめの解消率が低下しており、SNS を利用など複雑化するいじめへの適切な対応をお願いしたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	2.67	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆ いじめは、定期的なアンケートやクラスに関わる多くの人（特別支援教育支援員、管理職、養護教諭、保護者等）の情報などから、早期に調べて、重大事案になる前に、解決を図ることが望まれる。担任だけで抱え込まないで、協力体制のもと解決してほしい。</p> <p>◆ いじめ事案に対する解消率が目標値に大きく下回っている。いじめは個々さまざまであると思われるが、早期発見・解消にさらに組織的に取り組んでもらいたい。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	8 時代の変化に対応した教育環境の整備
主な取組	<p>(1) 学校施設の長寿命化改修等による教育環境の整備・充実</p> <p>○ 「日出町学校施設長寿命化計画」に基づき、学校施設の計画的かつ効果的な長寿命化改修による教育環境整備を進めます。</p> <p>○ 余裕教室を少人数指導教室や特別活動教室として活用するとともに、学校の実情に応じ、児童育成クラブや防災備蓄倉庫としての活用などを進めます。</p> <p>(2) 快適な学校生活に向けた環境整備・学校内外における安全対策の充実</p> <p>○ 小・中学校のエアコン設備は令和元年度までに設置を終え、また、手洗いの自動水栓化を令和3年度に行いました。引き続き快適な学校生活に向けた望ましい環境整備に努めるとともに、学校施設の防災機能の向上を図ります。</p> <p>○ 自然災害や防災、不審者等への対策についての基礎的・基本的事項を理解させるなど、防災教育の充実に努めるとともに、学校や地域の実情に応じ、火災や地震、津波等の災害発生を想定した避難訓練等を通して、自らの危険を予測し、回避する能力等の育成に努めます。</p>
実施事業	防災教育・避難訓練の充実、(新規設定)小・中学校管理事業、幼稚園管理事業
令和5年度の取組実績	<p>○ 老朽化、故障・不備に伴う工事・修繕 豊岡幼稚園屋根防水改修工事、藤原小学校児童下足棚改修工事、町立小中学校屋外遊具他改修工事、日出中学校プール斜面側溝改修工事、校(園)舎(附属建物含む。)の各種設備、体育館・校(園)庭・プール、運動器具・遊具の修繕</p> <p>○ 学校の立地や発達段階に応じた防災教育の実施</p> <p>○ 危機管理マニュアルの作成と見直し</p> <p>○ 実践的な避難訓練の実施</p>
成果	<p>○ 教育活動に支障をきたすことなく、整備を行うことができた。また、令和5年度から創設された「チャレンジ枠」を活用し、施設・設備の整備を図ることができた。</p> <p>○ 懸案事項である川崎小学校の更新に関し、町・町教委事務局・学校が協議し、事業の方向性を決定した。</p> <p>○ 学校の立地や発達段階に応じた防災教育を全ての学校で実施</p>

成果 (つづき)	○危機管理マニュアルの見直しを全ての学校で実施 ○実践的な避難訓練を全ての学校で実施																										
課題・目標	○令和6年度から川崎小学校の更新事業を実施するほか、他の学校についても施設の老朽化等に対応する必要がある。 ○緊急性・安全性を考慮し、予算の範囲内において学校・園施設の施設整備を進める。 ○引き続き猛暑が予想される中、児童・生徒の熱中症対策を講じる必要がある。 ○地域と連携した防災教育・防災訓練については実施できていない学校がある。																										
数値目標	各小中学校で防災教育や避難訓練の実施 <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td colspan="6">全小・中学校で年3回以上実施</td></tr><tr><td>実績</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	全小・中学校で年3回以上実施						実績	○	○	○	○	-	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	全小・中学校で年3回以上実施																										
実績	○	○	○	○	-	-																					
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 施設整備については学校との連携を密にし、適宜対応することができた。 防災教育や避難訓練は適切に実施できている。意識定着のため、今後の継続が大切である。																								
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 ■学習内容の変化や時代のニーズに合わせて、充実した教育環境が整備されている。 ■限られた予算の中で各校の施設・設備の整備、改修が計画的に行われている。 また、全小中学校で年3回以上防災教育や防災訓練を実施するなど、安全対策の充実を図っている。 ■学校施設は学ぶ場とともに地域の防災拠点となっている。近年、国内でも大きな地震等が再発しており、再度全職員への危機管理マニュアルの見直しや避難経路の確認等をお願いしたい。 ■学校の立地や発達段階に応じた防災教育の更なる充実を図っていただきたい。																								
第三者委員 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 ◆教育環境の整備については学校からの連絡を元に、スムーズに改善・修理等を行われていると思う。今後もニーズに応じて支援をお願いしたい。 ◆限られた予算内での施設・設備の整備や改修は困難な面があると思われるが、園児・児童・生徒が安全・快適に学校生活を送れるよう計画的に取り組んでもらいたい。																								
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								

【担当】教育総務課・学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	8 時代の変化に対応した教育環境の整備
主な取組	(3) 機能的な学習環境の整備・充実 ○老朽化した机や椅子の更新をはじめ、ICT環境の整備、ICT支援員の配置やICTガイドライン策定などによる学校現場のICTの活用を促進するなど、快適な学習環境の充実に努めます。 ○ICTが生活に不可欠となっている中で、学校教育においても積極的にICTを活用しつつ、主体的な情報収集や発信ができる「情報活用能力」の育成を図るなど、これからの未

主な取組 (つづき)	来社会を生きるために不可欠な資質や能力が身に付けられる学習環境の実現を目指します。 ○令和3年度末までに、すべての生徒・教師へのタブレット端末を配布しました。令和4年度にはモデル校を設定しICT教育の研究を行いながら、その後モデル校拡充を進め、全小中学校でのICT授業の試行により、令和7年度までには全小・中学校において、ICT活用授業の実施を目指します。																										
実施事業	GIGAスクール端末等ICT機器有効活用事業																										
令和5年度の取組実績	○学習用端末の利活用研修の実施 ○校内ネットワーク環境の整備（特別教室・体育館） ○全国学力調査のCBT（Computer Based Testing：コンピュータを使った試験方式のこと）による実施（中学校のみ）																										
成果	○教員のICTスキルチェックに基づく利活用研修の実施 ○端末使用頻度（ほぼ毎日）の割合 教員（R4）52.8%→(R5) 62.0% 児童生徒（R4）20.3%→(R5) 27.3%																										
課題・目標	○ハード整備は概ね完了した。更なる活用に向けスキルチェックの結果を踏まえた効果的な研修の実施等の取組を進める。 ○学習用端末、学校ネットワーク等、以前整備した環境が更新時期を迎えようとしているため、更新方針の検討が必要となっている。																										
数値目標	ICT機器を活用した先進授業の取組を実施している小・中学校の割合（％） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>0</td><td>30</td><td>50</td><td>70</td><td>80</td><td>100</td></tr><tr><td>実績</td><td>0</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	0	30	50	70	80	100	実績	0	100	100	100	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	0	30	50	70	80	100																					
実績	0	100	100	100	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	1人1台端末の整備目標はすでに達成しており、利活用についても若干ではあるが進みを見せている。																										
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■単に使うことが目的ではなく、学習内容の理解や定着を図るツールの一つとしてICT機器の活用の仕方をさらに深めていってほしい。 ■ICTの活用に関して、ほぼ毎日端末を使用していると感じている児童生徒の割合は教員と比べて著しく低い。情報活用能力を育むには情報収集や情報発信の経験を重ねることが必要であるから、授業でICT機器を使用していると児童生徒が実感できる程度まで利活用を図ることが望ましい。 ■ICT教育の導入により教員への業務負担が減る半面、機器を活用し指導するためにはスキルの向上が必要となり、逆に負担を強いられることもある。働き方改革を推進する中であるので、効率的に授業準備に取り組んでほしい。 ■ICT環境が整備されており、今後は児童生徒の充実した活用を促進していただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	◆ICTを活用した授業実践は、今後AI・チャットGPTアプリ等日進月歩で成長している分野で、有効活用が期待される。																										

(つづき)	◆目標値には達しており、今後は更なる活用を充実させてもらいたい。		
総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。	

【担当】教育総務課・学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																										
基本的施策	9 教職員の働き方改革の推進																										
主な取組	<p>（１）学校における働き方改革の推進</p> <p>○システムの活用による教職員出退勤管理により、適正な勤務時間の管理・把握及び分析を行い、必要な支援の充実に努めます。</p> <p>○学校閉庁日の設定、教職員研修の見直し、調査・依頼事項の削減等により、長時間勤務の是正に向けた業務改善を進めます。</p> <p>○スクールサポートスタッフや部活動指導員の活用等による業務支援体制の充実に努め、ＩＣＴ支援員や外部人材等を有効的に活用しながら、教職員がゆとりを持って子どもたちに対して効率的・効果的な教育活動が行える環境づくりを進めます。</p> <p>○ＩＣＴ環境整備における校務支援システム更新による教員の校務効率化、勤務時間の可視化による働き方改革に向けた意識啓発に取り組みます。</p>																										
実施事業	教職員の働き方改革																										
令和５年度の取組実績	<p>○外部（地域）人材の活用</p> <p>○勤務時間の把握と業務の見直し</p> <p>○週あたり授業時数１コマ減の取組（小２～中３）</p>																										
成果	<p>○全ての学校で働き方改革を重点目標に位置付けて実施</p> <p>○１年間で延べ１５５０人の外部人材の活用（Ｒ４比４５２人増）</p> <p>○小学校教科担任制推進校における、高学年担任の持ち授業時間数の減少</p>																										
課題・目標	<p>○働き方改革の更なる推進</p> <p>○特定の教職員への業務負担の偏り</p> <p>○教科担任制、学校サポーターなど、新しい制度の効果的活用</p>																										
数値目標	<p>教職員の１か月の平均超過勤務時間（時間）</p> <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>（目標値） Ｒ７</td></tr><tr><td>目標</td><td>33</td><td>32</td><td>32</td><td>31</td><td>31</td><td>30</td></tr><tr><td>実績</td><td>33</td><td>31</td><td>29</td><td>28.2</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７	目標	33	32	32	31	31	30	実績	33	31	29	28.2	－	－
年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７																					
目標	33	32	32	31	31	30																					
実績	33	31	29	28.2	－	－																					
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	外部人材活用の意識が高まり、取組が進むとともに、各校の外部人材活用システムの共有が始まっている。																										
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	<p>■いろいろな取り組みを積み重ねて働き方改革が少しずつ進んでいると感じるが、さらなる意識改革の継続を望む。</p> <p>■いろんな施策が導入されて、超過勤務時間は年々減少して、働き方改革の成果が出ている。しかし、超過勤務時間の実績値が実状に合ったものなのか、再度検証する必要があるのではないか。</p>																										

教育委員 評価・意見 (つづき)	<p>■教職員の1か月の平均超過勤務時間数は目標上限を下回っており、かつ4年連続して減少している。</p> <p>教職員の長時間労働を解消することは、教育活動の充実や優秀な人材の確保に繋がるものであり、今後とも様々な視点から働き方改革を進める必要がある。</p> <p>■外部人材の活用をさらに推進し、教員の校務効率化を図っていただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆学校運営協議会で地域の方の支援を多様な形で取り入れていると聞いている。こどもの教育にきっと有効な手助けとなると思う。</p> <p>◆まだまだ教員の負担は大きいと思われる。更なる働き方改革を進めてもらいたい。</p> <p>◆外部人材の活用は、先生方はもちろん、子どもたちの学力向上だけでなく、自己肯定感の向上にもつながると思うので、是非取組を広げてほしい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	10 学校給食の充実
主な取組	<p>(1) 食育の推進</p> <p>○児童生徒が生涯健康で充実した生活を送るために、学校給食を教材とした継続的な食指導と教科等における食に関する指導の推進に努めます。また、効果的な食に関する指導を計画的に推進するため、保護者向けの講演会、学校・家庭・地域への啓発や情報提供など、連携した取組を目指します。</p>
実施事業	教科や領域における栄養教諭等を活用した食に関する指導の充実
令和5年度の取組実績	<p>○食に関する授業の実施</p> <p>○学校給食センター見学の実施</p> <p>○給食時間の食に関する指導の実施</p> <p>○保護者向け給食試食会等の実施</p>
成果	<p>○栄養教諭及び学校栄養職員3名が各学校・幼稚園に出向き、食に関する授業を年78回実施した。児童生徒の食に関する知識や理解を深めることができた。</p> <p>○学校給食センター見学を年間4回実施し、食材の大切さや衛生的な調理方法などを学んだ。(日出小2年、藤原小1年、大神小1年・5年)</p> <p>○栄養教諭が作成した食育動画(ひじ丸くんチャンネル)を給食時間等で流し食育指導を行った。また夏休みの子供向け朝食レシピ動画も作成公開した。</p> <p>○新型コロナの影響で中止していた給食試食会を再開し32名の保護者が参加した。また6月からInstagramを開設し毎日の給食写真の公開を始めた。</p>
課題・目標	<p>○食の指導に地元食材を紹介し、生産に携わる方や地域への理解を深めるため、日出町内産の野菜等を積極的に活用したい。</p> <p>○学校給食センター見学の受入に学校からの移動手段として、町研修バスの協力が必要</p> <p>○食育動画の受け渡しについて、直接学校に行き行うため配信時期が遅れること、また受渡タブレットの容量不足でデータ整理の必要がある。</p>

数値目標	学校での教科・領域等による食に関する指導回数（回）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	75	71	72	73	74	75
	実績	75	72	73	78	－	－
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	○食に関する指導が目標を超える回数実施でき、児童生徒の食に関する知識・理解の向上と食習慣の形成に貢献できた。 ○食育動画は食の大切さや栄養バランスの重要性など分かりやすく、クイズを取り入れるなど楽しみながら学ぶことができる内容である。 ○保護者向けの試食会開催により、給食の味や献立を知り、家庭での食育への意識を高めることができた。						
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■栄養教諭による計画的な指導により、発達段階に応じて食育への理解が深まってきた。 ■食育は、生きる上の基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けられている。栄養教諭や学校栄養職員によって食に関する指導が計画的に実施されていることは好ましい。 ■いろんな手法を使って食育指導が実践されており、大変評価できる。今後も子ども達の健康の増進を図ってほしい。 ■食に関する授業が充実していることにより、児童生徒の食についての理解が深まっている。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆普段の給食の様子をInstagramに投稿したり食育動画を発信したりするなどSNSを活用して家庭と連携していて、とても素晴らしい取組だ。 ◆食育は学力・体力に大きく関係しているため、引き続き食育の推進に努めてもらいたい。						
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

【担当】学校給食センター

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実
基本的施策	10 学校給食の充実
主な取組	<p>(2) 給食内容の充実</p> <p>○安全・安心でおいしい給食を提供するため、学校給食で使用する食材の安全確保と地場産物の利用の拡大に努めます。献立内容の充実や安全な食物アレルギー対応など、子ども、保護者のニーズに応えるとともに、栄養バランスの取れた給食を提供し、児童生徒の健康増進・体力の向上を目指します。</p> <p>○また、定期的に給食アンケートを実施し、メニュー構成や食育の取り組みに生かしていきます。</p>
実施事業	学校給食食材調達事業

令和5年度 の取組実績	町内産食材の使用率拡大の取り組み																											
成果	<p>○新たな地元産食材として、(農)軒の井生産組合の麦大豆やきな粉、阿部三郎商店の味噌の使用を開始。(小麦粉 50 kg、大豆 107 kg、きな粉 55 kg、味噌 296 kg)</p> <p>○農協と協議し学校給食への町内産野菜の入荷増を依頼した。(町内産野菜の使用率 26.5%)</p> <p>○町内産食材の使用により安心安全な給食の提供や地産地消による食育の推進、地域農業の振興など行うことができた。</p> <p>○町内産食材を中心につかった「学校給食まるごと日出町」を初めて実施した。</p> <p>○町内産野菜を購入したいが農協や集荷業者からの応札が少なく使用量の増加が難しい。</p>																											
課題・目標	<p>○アンケートでは、栄養バランスの取れた給食の維持について、97%の保護者が「重要」「やや重要」と回答しており、80%が「値上げはやむを得ない」と回答した。しかしながら、依然として厳しい社会情勢が続いていることを考慮し、子育て世代支援のため、4年度に引き続き、5年度も値上げを実施しないことに決定した。なお、不足する食材費は町で負担し、給食水準の維持に努める。</p> <p>○給食費値上げについて、改めて検討していく必要がある。</p>																											
数値目標	<p>町内産野菜の使用率 (%)</p> <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>25.1</td><td>25.6</td><td>26.1</td><td>26.6</td><td>27.1</td><td>27.6</td></tr><tr><td>実績</td><td>25.1</td><td>22.8</td><td>25.6</td><td>26.5</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	25.1	25.6	26.1	26.6	27.1	27.6	実績	25.1	22.8	25.6	26.5	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	25.1	25.6	26.1	26.6	27.1	27.6																						
実績	25.1	22.8	25.6	26.5	－	－																						
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	町内産野菜の使用率について昨年度よりあがったが、目標は若干下回った。町内産野菜の生産量や価格などの課題があり、今後、引き続き農協や集荷業者と協議し向上していきたい。																											
教育委員 評価・意見	評価	3.25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	<p>■物価高騰の中、地産地消など給食内容の充実に努力しているが費用をおさえるにも難しさがあると思う。</p> <p>■学校給食には、適切な栄養摂取や望ましい食習慣を身に付けることその他、地域の食材や食文化への理解を深めること等も期待されている。地元食材を使用することは郷土愛を育む一助となるものであり、使用率の更なる向上に努めて欲しい。</p> <p>■原材料の価格高騰のおり、給食費の値上げをしないことはありがたいと思う。日出町は特色ある農産物の産地であるので、量・価格等の課題はあると思うが、ぜひ給食に取り入れてほしい。</p> <p>■地元食材を利用した安全・安心で美味しい給食の提供を目指していただきたい。</p>																											
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	<p>◆食の充実とどんどん値上がりする食材でどうやりくりするか、とても悩ましい問題である。</p> <p>◆引き続き地元産食材を使用し、栄養バランスのとれたおいしい給食の提供に努めてもらいたい。</p>																											

総合評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
------	---	------------------------

【担当】学校給食センター

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実		
基本的施策	10 学校給食の充実		
主な取組	<p>(3) 衛生管理の徹底</p> <p>○学校給食衛生管理基準による衛生管理の徹底を図るため、納入食材は確実な検収を行い、衛生的に保管することとし、調理工程では確実な温度管理に努めます。</p> <p>○また、異物混入を防止するために、様々な要因を想定し、作業工程の打合せや厨房機器・器具類のチェック等を入念に行います。</p>		
実施事業	—		
令和5年度の取組実績	○学校給食衛生管理基準や大量調理施設衛生マニュアルの徹底		
成果	○食中毒や異物混入等の事故もなく年間を通して計画的な運営ができた。		
課題・目標	<p>○厨房機器の不調や食材の異物の混入が稀に発生する。日常の施設内設備の管理と納入食材の異物除去、業者への指導を行い、給食への侵入を防止する。</p> <p>○令和6年7月で現調理等委託業者との履行期間が終了するため、次期委託契約においても衛生管理体制で調理能力のある業者選定を行う。</p>		
数値目標	当該事業に関する設定なし		
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>令和5年度は食中毒や異物混入などの事故発生はなかった。</p> <p>今後も衛生管理を徹底し問題なく学校給食を提供できるよう取り組みたい。</p>		
教育委員評価・意見	評価	4.25	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■アレルギー対策などセンターと学校現場で組織的に取り組まれており、衛生管理が充実している。</p> <p>■新センター稼働後、順調に運営されている。</p> <p>今後とも衛生管理に万全を期して無事故を継続して欲しい。</p> <p>■今後とも衛生管理の徹底を図り、子ども達に美味しく、安全な給食を届けてほしい。</p> <p>■食中毒や異物混入の事故もなく適切な衛生管理ができています。</p>		
第三者委員会委員評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆学校給食センターも新しい環境化にあり、委託業者も事故なく対応できている。</p> <p>◆今後も衛生管理の徹底を図り、安心・安全な給食の提供に努めてもらいたい。</p>		
総合評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。	

【担当】学校給食センター

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実		
基本的施策	11 地域とともにある学校づくりの推進		
主な取組	<p>(1) 外部人材の活用</p> <p>○地域人材等を活用し、学校と家庭、地域が一体となった体制整備に努め、多様な学習活動を推進します。</p>		

実施事業	学校運営協議会																																												
令和5年度の取組実績	○学校運営協議会や地域コーディネーターが主導した外部人材の活用 ○日常的な外部人材活用の推進																																												
成果	○1年間で延べ1550人の外部人材の活用（R4比452人増） ○全ての学校で、学校運営協議会と学校教育目標の共有を行った。 ○特に小学校では、外部人材の活用が定着してきている。																																												
課題	○取組の進んでいる学校の工夫や留意点を共有していく必要がある。 ○今後は特別授業の実施より、日常的な参加・参画（活用）を実施 ○中学校での活用推進																																												
数値目標	<div>（小・中学校別）外部人材を活用した特別授業を実施した開催数（年間）</div> <table><thead><tr><th></th><th>年度</th><th>（基準値） R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>（目標値） R7</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">小</td><td>目標</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr><tr><td>実績</td><td>15</td><td>38</td><td>57</td><td>61</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="2">中</td><td>目標</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td></tr><tr><td>実績</td><td>10</td><td>10</td><td>14</td><td>14</td><td>－</td><td>－</td></tr></tbody></table>								年度	（基準値） R2	R3	R4	R5	R6	（目標値） R7	小	目標	15	16	17	18	19	20	実績	15	38	57	61	－	－	中	目標	10	11	12	13	14	15	実績	10	10	14	14	－	－
	年度	（基準値） R2	R3	R4	R5	R6	（目標値） R7																																						
小	目標	15	16	17	18	19	20																																						
	実績	15	38	57	61	－	－																																						
中	目標	10	11	12	13	14	15																																						
	実績	10	10	14	14	－	－																																						
担当課評価・理由	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 外部人材活用の意識が高まり、取組が進むとともに、各校の方法の共有が始まっている。																																										
教育委員評価・意見	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 ■学校・家庭・地域がつながって人材の活用が進み、子どもたちにとってよい体験の場となっている。また、「開かれた学校」や「教職員の人材育成」にもつながると感じる。 ■外部人材を活用した特別授業の開催数は目標を上回っており、特に小学校においては年々増加している。また、各校のノウハウを共有する動きがあることは好ましい。外部人材を活用することは、児童・生徒が地域の方々と触れ合う機会となるだけでなく、教職員の負担軽減にも繋がるものであり、この取り組みがさらに充実することを期待する。 ■外部人材の活用人数が年々増加していることは、大変素晴らしいことだと思う。このことは子ども達にとっても、学校にとっても大きな財産であり、今後いろんな分野での登用を期待する。 ■外部人材の活用の意識が高まったことによる成果が出ている。																																										
第三者委員会委員評価・意見	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。 ◆コミュニティスクール、学校運営協議会中心となって学校の応援、支援者を募り学校をサポートする人材が着実に増えている。地域と共に連携し、こどもを支援することはとても良い。 ◆今後も多様な人材を積極的に活用し、円滑に参画できる環境整備を行ってほしい。 ◆外部人材の活用は子どもたちの学力向上だけでなく、自己肯定感の向上にもつながると確信しているので、是非中学でも取組を進めてほしい。																																										
総合評価		5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																																										

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅱ 教育環境の充実																										
基本的施策	11 地域とともにある学校づくりの推進																										
主な取組	(２) 学校情報の公開 ○各学校では、地域住民も参加できる学校公開日を年３回以上設定します。また、学校便りや学校ホームページ等を活用して学校の活動を公開し、開かれた学校を目指します。																										
実施事業	学校情報の公開																										
令和５年度の取組実績	○各学校で年間３回～４回以上の学校公開を行う。																										
成果	○新型コロナ流行以前の学校公開とほぼ同様に実施できるようになった。 ○地域の方や学校運営協議会委員等の学校公開参加も再開した。 ○学校ホームページのリニューアル																										
課題	○ICT を活用した学校情報の公開等の検討・実施																										
数値目標	年間３回以上の学校公開を行った学校の割合 <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0																					
実績	100.0	100.0	100.0	100.0	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																								
	インフルエンザ等での一部中止はあったが、ほぼ元の形での学校公開ができるようになり、たくさんの参加をしていただいた。																										
教育委員 評価・意見	評価	4.50	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																								
	■地域とのつながりを深めるためにも、今後も様々な機会を利用して学校情報の公開を進めていってほしい。 ■学校公開の実施や学校通信の全戸回覧など、住民の目に付く取り組みが積極的に行われている。今後とも継続されることを期待する。 ■地域の方が学校のＨＰを閲覧する機会はまだまだ少ないと思われるので、子ども達の様子を知れる学校ＨＰをどのように周知するか検討してほしい。学校訪問では、目標の１００％の実施回数で保護者も多く参加しているが、地域住民への周知が薄いのでは。 ■学校公開やホームページなどで学校の活動を継続的に公開し、開かれた学校となっている。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																								
	◆学校は地域に開かれたものであり、保護者や地域の方が授業や運動会等を見てこどもの成長や学習の様子を参観する事は大事である。また、病気の感染や不審者等には留意して、安心・安全を図りたい。 ◆今後も引き続き開かれた学校づくりを目指してもらいたい。 ◆外部人材の方たちの活力の素は、子どもたちの姿を実際に目にすることだと思うので、今後も開かれた学校づくりを進めてほしい。																										
総合評価		5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。																								

【担当】学校教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																											
基本的施策	12 地域活動の充実																											
主な取組	<p>（１）住民ニーズに応じて事業を再構築、広く参加を呼びかけ、活動の担い手を発掘・育成します</p> <p>○自治公民館長など各役員を中心に広く参加者を募ります。</p> <p>○研修内容を充実させ、地域を担う人材を育成します。</p> <p>○インターネットやＳＮＳの活用など周知方法の充実を図ります。</p>																											
実施事業	地区公民館事業																											
令和５年度の取組実績	<p>○コロナの５類移行を契機として、「コロナ禍前に戻す」ことを念頭に取組み</p> <p>○体育祭は日出・大神地区を除き開催、ふるさとまつりは全地区で開催</p> <p>○成人ソフトボール大会は全地区で開催、その他軽スポーツイベントも開催</p>																											
成果	○体育祭を除き、多くの行事をコロナ禍前に戻すことができた。																											
課題・目標	<p>○社会生活はコロナ禍前に戻りつつあるが、希薄化したコミュニティはなかなか戻っていない。</p> <p>○全てを一度にコロナ禍前に戻すことは困難だが、ターゲットを絞って出来ることから地道に実施していく。</p> <p>○子ども会をはじめとする地域団体が減少しており、衰退の防止、団体の活性化が求められる。</p>																											
数値目標	<p>地域リーダー養成研修（年間回 ※中央公民館が全自治館長と接する回数）</p> <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>（目標値） R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>実績</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>							年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7	目標	2	3	3	4	4	5	実績	2	1	1	2	－	－
年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7																						
目標	2	3	3	4	4	5																						
実績	2	1	1	2	－	－																						
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	コロナの５類移行により、地域活動がようやく上向きはじめた。３～４年間休止していた行事が多いが、地域と連携して、開催ができているが、目標値に達していない。																											
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	<p>■アフターコロナの中で、地域の声の中にあまり高まりを感じられない難しさがある。</p> <p>■時代の変化とともに住民の意識や行動は大きく変化している。地域の行事等に際して、高齢者を中心とした協力的な方々の負担が増大している印象がある。</p> <p>コロナ禍前に復することに捉われ過ぎず、今の時代や住民ニーズに応じた地区公民館のあり方を改めて考える必要がある。</p> <p>■コロナ５類移行後、イベントが復活しつつあるが、地区体育祭等では主催者や役員の尽力に反して、町民の参加意欲が低いと感じられた。どうすれば、参加者増に繋がるのか、イベントの再考も必用。</p> <p>■地域活動の充実を目指し、地域との更なる連携をお願いしたい。</p>																											
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	◆一番気になるのが地域の人たちの高齢化、若い人の減少で地域の様々な行事が行いにくくなっている。																											

(つづき)	◆一度事業の活動休止をすると、以前の状態にもどるまで時間がかかる。子ども会や地域団体の減少などで活動内容の見直しを行ってもよいのでは。	
総合評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																											
基本的施策	12 地域活動の充実																											
主な取組	<p>（２）住民ニーズに応じて事業を再構築、広く参加を呼びかけ、活動の担い手を発掘・育成します</p> <p>○地区公民館事業（地区体育祭やふるさとまつりなど）を住民が満足して参加できる事業に再構築します。</p> <p>○周知方法の充実を図ります。</p>																											
実施事業	中央公民館事業																											
令和５年度の取組実績	<p>○コロナの５類移行を契機として、「コロナ禍前に戻す」ことを念頭に取り組</p> <p>○前年度に引き続き、スマホ教室などＤＸ関連事業を実施</p>																											
成果	<p>○主催教室（公民大学含む）は前年度と比べ、実施回数が３割超、参加人数が２割超増加した。</p> <p>○前年度は１回の開催に留まった自治公民館長研修会を、２回開催することができた。</p> <p>○スマホ教室は前年度と比べ、受講のべ人数が１８％超増加した。</p>																											
課題・目標	<p>○「つどい」「まなび」「むすぶ」場として、地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>○多様かつ変容する町民ニーズを読み取り、状況に即した事業を実施する。</p> <p>○公民館の活動を広く周知し、社会教育に関する機運を醸成するために、SNS等を駆使した広報を行う。</p>																											
数値目標	<p>各地区公民館だよりの発行回数（年間）</p> <table><tr><td>年度</td><td>（基準値） Ｒ２</td><td>Ｒ３</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td>（目標値） Ｒ７</td></tr><tr><td>目標</td><td>１７</td><td>１３</td><td>１３</td><td>２２</td><td>２８</td><td>３４</td></tr><tr><td>実績</td><td>１７</td><td>１３</td><td>１４</td><td>１１</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>							年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７	目標	１７	１３	１３	２２	２８	３４	実績	１７	１３	１４	１１	－	－
年度	（基準値） Ｒ２	Ｒ３	Ｒ４	Ｒ５	Ｒ６	（目標値） Ｒ７																						
目標	１７	１３	１３	２２	２８	３４																						
実績	１７	１３	１４	１１	－	－																						
担当課評価・理由	評価	３	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	コロナの５類移行により、活動が活発になってきている。参加者も前年度を大きく上回っており、町民の学ぶ意欲を後押しできているが、目標値に達していない。																											
教育委員 評価・意見	評価	３	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									
	<p>■行政として住民ニーズをとらえながら、ねばり強く事業を進めてほしい。</p> <p>■時代の変化とともに住民の意識や行動は大きく変化しており、住民がこぞって地域行事に参加するという時代ではない。コロナ禍前に復することに捉われ過ぎず、まず住民の意識やニーズを把握することが大切である。</p> <p>スマホ教室の参加者が１８％以上増加したのは、まさしく住民ニーズに合致した取り組みであったためと思われる。</p> <p>■公民館だよりの発行回数が減少しているのは残念。研修等を充実させて、各公民館ごとの企画もぜひ実施してほしい。</p>																											

(つづき)	■主催教室の実施回数や参加人数が前年度より増加している。公民館活動を広く周知するために SNS 等を利用した広報活動を充実させていただきたい。		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	◆スマホ教室等ニーズに合った学習は、使いこなせない人にとっては、助かる教室である。 ◆公民館主催教室の参加者が目標値を大きく上回っている。今後も住民ニーズに応じた事業の継続に取り組んでもらいたい。		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実						
基本的施策	13 多様なニーズに応じた学習機会や学習内容の充実						
主な取組	(1) 各世代のニーズに応じた学習機会を提供するとともに、その必要性を啓発します ○住民ニーズに応じた事業を構築します。 ○行政課題に対しては他課、他機関と連携した事業展開を行います。 ○広報により、定期的に活動内容を周知するとともに、教室への参加募集を図ります。						
実施事業	公民大学、公民館主催教室、公民館自主教室、デジタル活用支援推進事業、事業広報、人権教育など						
令和5年度の取組実績	○前年度よりコロナ前の水準に戻すことを目標としており、さらに推進する。 ○前年度に引き続き、スマホ教室などDX関連事業を実施 ○前年度に引き続き健康をテーマにした主催教室を開催						
成果	○主催教室（公民大学含む）は前年度と比べ、実施回数が3割超、参加人数が2割超増加した。 ○スマホ教室は前年度と比べ、受講のべ人数が18%超増加した。						
課題・目標	○「つどい」「まなび」「むすぶ」場として、地域コミュニティの活性化を図る。 ○社会教育の中心を担う機関として、町民の多様な潜在的学習ニーズに応える。 ○社会のDX化に取り残される町民がでないよう、DX関連事業を継続して実施する。						
数値目標	公民館主催教室開催数（年間）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	5	6	6	7	7	8
	実績	5	7	9	8	－	－
	公民館主催教室参加者数（年間）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	140	161	165	175	180	180
実績	140	153	372	473	－	－	
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	コロナの5類移行により、活動が活発になってきている。参加者も前年度を大きく上回っており、町民の学ぶ意欲を後押しできている。						

教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■アフターコロナの中でも、公民館主催の教室数、参加者数とも増加している点は評価できる。</p> <p>■新型コロナの感染状況が少し落ち着いて従来通りの生活が戻りつつある中、公民館主催教室の開催数・参加者数が目標を上回り、かつ参加者数が大きく増加していることは好ましい。</p> <p>多様化していく住民ニーズを反映した教室・講座が今後とも実施されることを期待する。</p> <p>■年々開催数、参加者数共増加しており、町民の学びたい・知りたい等意欲の表れだと思う。町民の意見を聞き、今後ともニーズに合った教室を開催してほしい。</p> <p>■社会のDX化に町民が適応できるよう、DX関連事業を継続して実施していただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆スマホ教室等ニーズに合った学習は、使いこなせない人にとっては、助かる教室である。</p> <p>◆公民館主催教室の参加者が目標値を大きく上回っている。今後も住民ニーズに応じた事業の継続に取り組んでもらいたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実																											
基本的施策	14 地域における子どもの健全育成																											
主な取組	(1) 子育て世代にニーズの大きい、放課後子ども教室を拡充 ○地区公民館事業の充実に努め、地域との連携により豊岡、川崎地区以外へ放課後子ども教室を拡充します。 ○「学びの未来創造事業」(県補助)を活用し事業を実施します。(土曜等教育活動、放課後教育活動、家庭教育講座)																											
実施事業	地区公民館放課後子ども教室(川崎っ子公民館クラブ、豊岡子ども教室、大神子ども教室など)																											
令和5年度の取組実績	○平日は、大神を除く4地区で、休校日は全地区で、放課後子ども教室を開催した。																											
成果	○実施回数や体制に差はあるが、全ての地区で放課後子ども教室を開催することができた。																											
課題・目標	○学校との連携及び地域ボランティアの確保 ○地域に対する主体性の意識付け ○各地区の差異を小さくするよう充実化を図る																											
数値目標	地区公民館放課後子ども教室開設数(箇所) <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>実績</td><td>2</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>							年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	2	3	3	3	4	5	実績	2	4	5	5	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																						
目標	2	3	3	3	4	5																						
実績	2	4	5	5	－	－																						
担当課評価・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。 全地区における実施を実現できている。																									

教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>■「放課後子ども教室」は共働きの保護者にとっては大きな受け皿であり、拡充への努力を続けてほしい。</p> <p>■地域社会における連帯意識の希薄化等によって「子どもや子育てを地域で見守る、地域で支える」という体制は崩れており、放課後の子どもの安全な居場所を確保することが重要になっている。</p> <p>前年度に引き続き5地区すべてで放課後子ども教室が開催されており、今後は、地区間の差異がなくなるなど、さらに充実が図られることを期待する。</p> <p>■全ての地区での放課後子ども教室の開催、及び2年続けての目標達成は、評価できる。今後は、目標値をクリアすることだけでなく、開催内容の充実を期待する。</p> <p>■子ども教室を全地区で実施できており、今後も継続していただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆以前、放課後こども教室と、放課後児童クラブがタイアップした、活動をしていたことを覚えている。お世話をする人を増やしていきたい。</p> <p>◆放課後子供教室の開催には手伝ってもらえる地域のボランティアの協力が必要不可欠であるため、ボランティアの確保について引き続き努力してもらいたい。</p> <p>◆各地区公民館の職員の方や各地区担当者の職員の方が熱心に取り組んでくれているからこそだと思う。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	14 地域における子どもの健全育成
主な取組	<p>(2) 子どもと保護者のニーズに沿った様々な学びの機会を提供し、子どもの可能性を広げます</p> <p>○体験教室を開催</p>
実施事業	公民館子ども教室
令和5年度の取組実績	<p>○県補助「地域協育力向上事業」を活用して、放課後子ども教室を開催した。</p> <p>○海洋や海産物に慣れ親しむ場として、一部県補助を活用して「うみうみ教室」を開催した。</p> <p>○夏季休暇における学びの場を提供するために、町子連「夏休み子ども教室」を開催した。</p>
成果	<p>○実施回数や体制に差はあるが、すべての地区で放課後子ども教室を開催することができた。</p> <p>○子どもたちの地域を横断した交流の場を提供することができた。</p>
課題・目標	<p>○地区公民館及び学校との連携、地域ボランティアの確保</p> <p>○周知方法を工夫し、多くの児童の参加を図る。</p> <p>○場当たりの教室ではなく、子どもたちが興味を持ち、かつ学びや気づきに発展するようなテーマを検討する。</p>

数値目標	体験教室などの開催数（年間）						
	年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7
	目標	20	20	46	54	58	60
	実績	20	13	36	45	－	－
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	前年度より大幅に改善したものの、目標値を下回っている。						
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	■体験教室などの開催数は3年連続して目標値を下回っている。 目標に届かなかった理由を分析した上で実施回数の増や内容充実が図られることを期待する。						
	■体験教室の1教室あたりの参加人数の推移も記載してほしい。どの教室が子どもに人気があるのかを分析し、次年に繋げていくことも必要。						
	■子どもたちの地域を横断した交流の場の提供の継続と内容の充実をお願いしたい。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	◆町子連「夏休み子ども教室」で夏休みに色々のテーマで、学習の場が提供できると子どもたちも楽しい機会となるのではと思う。						
	◆前年より実績は上がってきているが、まだ目標値には達していない。今後目標値の見直しを行ってもよいのでは。						
	◆今年は各教室申し込みも多く、子ども会員だけでなく全児童対象の教室も開催していて、改善していると思う。						
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	14 地域における子どもの健全育成
主な取組	<p>（３）「子ども会育成会」を支援し、地域で子どもを育てる取組を促します</p> <p>○子ども会育成会連絡協議会支援事業</p> <p>○ジュニア・リーダースクラブ支援事業</p>
実施事業	子どもスポーツ大会、指導者・リーダー研修、かべ新聞、綱引き、児童文化祭、ジュニアリーダー研修などを支援
令和5年度の取組実績	<p>○継続した事業・・・指導者・リーダー研修会、紙ヒコーキ大会、夏休み子ども教室、綱引き大会、JL春期研修会</p> <p>○復活した事業・・・日出町児童文化祭（芸能発表、かべ新聞）</p> <p>○新規事業・・・日出町児童文化祭（オリエンテーリング）</p>
成果	<p>○イベント数の目標を達成し、単位子ども会活動の活性化に寄与した。</p> <p>○JL春期研修会の参加者が中学校入学区と同時にジュニアリーダーとして1名加入</p>
課題・目標	<p>○子ども会数、会員数の増加</p> <p>○ジュニアリーダーの増加</p> <p>○イベント内容の見直し</p>

数値目標	「日出町子ども会育成会連絡協議会」関連のイベント数						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	1	14	14	14	14	14
	実績	1	3	12	16	－	－
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	活動内容やイベント数はコロナ前の規模で活動ができたが、会員数については減少傾向にある。イベント内容、集客方法について改善を行いながら、会員数の増加に努めたい。						
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	■子供会活動を休止している地区も増えている現状がある。「傾向と対策」に難しさを感じる。 ■近年、子どもの規範意識の低下が懸念されている。子ども会活動等を通して「対人関係の築き方」や「社会におけるルールやマナー」を学び覚える機会がより多く提供されることを期待している。 ■子ども会の会員が減少しているのは、全国的な傾向。子ども会に入会すれば行事等の参加で親の負担が大きいという声を聞くため、ジュニアリーダーやボランティアの役割は必要と思われる。 ■イベント数は増加しているのは良いことであるが、会員数の増加に繋がる取り組みを充実させていきたい。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.00	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	◆さまざまな理由により会員数が減少している現状であるので、一度検討してみてもは。 ◆会員の子どもも保護者も満足度は高いと思うが、組織率を上げるための取組が必要と思う。						
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	(1) 図書館の利用促進
	○町立図書館を「読書のまちづくりの拠点」とし、乳幼児から高齢者まで世代に応じた資料の充実と情報提供を行い、誰もが読書に親しみやすい図書館となるよう機能強化を行います。
実施事業	図書館運営事業
令和5年度の取組実績	○ミニコンサートや毎月の展示等、各種イベントの実施 ○書籍購入額約 6,902 千円
成果	○コロナも5類に移行しイベント時の来館者数は増加している。 ○年度末の蔵書冊数 (R4) 91,870 冊 → (R5) 95,091 冊 3,221 冊増
課題・目標	○予算の都合上、無償の出演者(ミニコンサート・講演会)で対応しているが限界がある。 ○日出町の人口規模では15万冊の蔵書が必要。 ○寄贈や雑誌スポンサー等あらゆる手立てで蔵書を増やして行きたい。

数値目標	町立図書館来館者数（人）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	57,744	92,000	94,000	96,000	98,000	100,000
	実績	57,744	71,045	79,440	81,845	－	－
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	コロナも５類に移行し、イベント来館者数も増えてきているが微増に留まっている。他市町村と比べ蔵書冊数が少ないのも一因。						
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	■限られた予算の中でいろいろな事業やイベントが計画されている。蔵書数の増加と合わせて取り組みの継続を望む。						
	■来館者数は、目標人数には届いていないが年々増加している。子どもたちも来館しやすい雰囲気づくりと、限られた予算の中ではあるが子どもから高齢者までのニーズに応えられる蔵書の充実を期待する。						
	■15万冊蔵書を達成するためには、資金の面からかなり難しいと思われるのでどの分類の書籍が必要かを分析し、広報やSNSその他いろんなメディアで町内外に呼びかけを行ったらどうか。平日は、図書館で大人が自己研鑽に励んでいる姿をよく目にする。来館者数は目標には届いていないが、十分に読書のまちの拠点になっていると思う。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	◆図書館で人集めのイベントを開いて、図書館の愛好者を増やしていくことも効果があると思う。来館者は確実に伸びていっているので、読書好きな人が益々増えることを願う。						
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	(2) 資料の提供と課題解決支援 ○町民ニーズを捉えた蔵書、レファレンス機能の充実を図ります。
実施事業	選書、レファレンスサービス
令和5年度の 取組実績	○町民ニーズを捉え、且つ蔵書構成を考えながらの選書。 ○県立図書館や他市町村図書館など関係機関との連携。 ○各種研修会などへの参加。
成果	○リクエスト票や窓口での聞き取りなどから、町民ニーズを捉えた選書が出来た。 ○関係機関との連携により、レファレンス機能の充実を図る事が出来た。 ○各種研修会などの参加により、職員の資質向上を図る事が出来た。

課題・目標	○引続き町民ニーズを捉えたバランスのよい選書を心掛ける。 ○県立図書館のシステム更新により、他市町村図書館との連携が容易になったので、より活用をしていく。 ○引続き各種研修会などへ参加し、職員の資質向上に努める。																							
数値目標	<table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>96, 657</td><td>120, 000</td><td>122, 500</td><td>125, 000</td><td>127, 500</td><td>130, 000</td></tr><tr><td>実績</td><td>96, 657</td><td>111, 229</td><td>114, 778</td><td>116, 669</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>			年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	96, 657	120, 000	122, 500	125, 000	127, 500	130, 000	実績	96, 657	111, 229	114, 778	116, 669	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																		
目標	96, 657	120, 000	122, 500	125, 000	127, 500	130, 000																		
実績	96, 657	111, 229	114, 778	116, 669	－	－																		
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。 蔵書貸出数は微増に留まる。日出町立図書館は他市町村に比べ蔵書冊数が少ない。																					
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。 ■蔵書貸出数は、目標冊数に届いていないが年々増加している。今後とも、町民ニーズを捉えた選書やレファレンス機能の充実を図って欲しい。 ■貸出図書が増加することが、即読書のまちづくりに繋がるとは思わない。小学校の図書室は充実しているので、そこで借りる割合も多いのでは。また、「電子日出町図書館」の検討も今後必要になるのではないかな。 ■関係機関との連携によりレファレンス機能の充実を図ることができている。蔵書冊数増加を目指していただきたい。																					
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。 ◆現代は、パソコンやタブレット、スマホの電子書籍により24時間いつでも利用でき、どこでも読める。紙の本を読むことの魅力を広く周知できたらと思う。																					
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																					

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	(3) コミュニティセンターとしての役割 ○関係機関・団体と連携し、子どもたちから本に慣れ親しむ環境づくりに努め、人が集う場を作ります。
実施事業	各種イベント
令和5年度の取組実績	○毎月1回ブックスタート・毎月1回ベビー&キッズデー・毎月2回読み聞かせ ○定期的に図書館ミニコンサート・講演会等の開催 ○毎月のテーマ展示等
成果	○利用者は微増だが増えてきている。 ○コロナ5類移行もあり日出中ミニコンサートは180名来館があった。 ○毎月テーマを決めて関連本展示をする。テーマ展示目当ての来館者もいる。
課題・目標	○来館者に飽きられないよう、新規イベントも考える。 ○来館者に飽きさせない展示を心がける。

数値目標	町立図書館内行事参加者数（人）						
	年度	（基準値） R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	（目標値） R 7
	目標	640	1,480	1,510	1,540	1,570	1,600
	実績	640	867	5,673	7,113	－	－
担当課評価 ・理由	評価	5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。				
	コロナの５類移行もありイベント関連の参加者数は伸びました。						
教育委員 評価・意見	評価	4.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。				
	■館内行事の参加者数は目標をこえている。今後も、コミュニティセンターとして土台づくりを進めていってほしい。 ■図書館内行事への参加者数は年々増加し、目標人数を大きく回っている。 行事に参加した方々を読書活動に繋ぐことが大切であり、更なる工夫を期待する。 ■年々、参加者数が増加しているのは、職員や関係者の方の尽力のお陰であることは非常に評価できる。今後もイベント以外でも、参加者が図書館に足を運ぶような仕掛けが必要と思われる。 ■定期的な図書館ミニコンサート・講演会等の開催や毎月のテーマ展示により来館者数が増加している。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	◆ブックスタート、ベビー＆キッズデー、読み聞かせ、ミニコンサート、講演等多彩なイベントを企画して参加者も増加して、図書館の活用に貢献している。 ◆今後も引き続き継続してもらいたい。						
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅲ 生涯学習・社会教育の充実
基本的施策	15 読書のまちづくりの推進
主な取組	<p>(4) 子ども読書活動の推進</p> <p>○大分県社会教育課が実施する「子ども司書養成講座」に子どもたちを派遣し、子どもの読書活動を推進します。</p>
実施事業	子ども司書養成講座
令和5年度の取組実績	<p>○町立図書館での図書館実習の実施</p> <p>○子ども司書新聞の展示</p> <p>○県立図書館での子ども司書養成講座の引率</p>
成果	<p>○図書館業務について参加者に理解してもらう事が出来た。</p> <p>○一般の来館者に子ども司書についての取り組みを知ってもらう事が出来た。</p> <p>○他市町村の子ども司書との交流は新しい学びもあり、これからの活動に活かすことができる。</p>
課題・目標	<p>○図書館業務について楽しく理解してもらえるような実習の実施。</p> <p>○町立図書館での活動回数を増やす。</p> <p>○町内の小学校へ「子ども司書養成講座」のより積極的な周知。</p>

数値目標	子ども司書認定者数（人）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	8	15	22	28	34	40
	実績	8	14	19	25	－	－
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	学校への周知と併せて校長会でも子ども司書の説明をし、認定者数を増やす。						
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	■各学校とも読書活動の推進を掲げ、家庭への呼びかけも行っている。学校司書補との連携や「子ども司書養成講座」等の取り組みを通して図書館とのつながりを深めてほしい。 ■読解力、創造力、思考力、表現力などを育む上で読書は欠かせない。学校と連携しながら子どもの読書活動を推進する取り組みが今後とも行われることを期待する。 ■関係機関と連携して司書講座を広く情宣し、子どもの読書活動を推進してほしい。 ■子ども司書新聞の展示などにより取り組みを周知できている。「子ども司書養成講座」の積極的な周知により子ども司書認定者数を増加させていただきたい。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				
	◆子ども司書を認定して、起爆剤となり、さらに読書好きの子どもを増やしていくということだが、以前自分が好きな本の紹介等をゲーム感覚でしていたことを覚えている。こども司書で読書意欲を高めていくことを期待している。 ◆ゲームで遊ぶ子どもが多い現在、身近な人達に読書の楽しさを伝え、本を読むことが好きになってもらうことはよいことだと思う。認定者数の増加に努力してもらいたい。						
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。				

【担当】町立図書館

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																																					
基本的施策	16 文化・芸術の振興																																					
主な取組	(1) 日出町文化協会の活動補助 ○芸術文化鑑賞イベントの企画運営を始めとした文化協会独自の取り組みをサポートし、団体活動の更なる充実を図ります。また、活動を通じて知名度を上げ、新規団体・会員の入会を促すことで、協会のより一層の発展を目指し、ひいては町全体の文化・芸術活動への関心増を目標とします。																																					
実施事業	文化協会活動補助事業																																					
令和5年度の取組実績	○ひじ産業文化まつりが4年ぶりに通常開催ができ、子ども向けの体験イベントも企画・運営した。 ○主催事業「芸術文化鑑賞イベント」を4年ぶりに開催した。																																					
成果	○新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、主体となってまつりやイベントを企画・運営できた。 ○芸術文化鑑賞イベントは以前の形態から大きな変更がなかったものの、約150名もの来館者を得た。																																					
課題・目標	○日出町文化協会の独立（教育委員会から手を放れること）が目標 ○高齢化等の理由で団体数が減っており、団体各々の強化や若年層の取り込みが課題																																					
数値目標	<table><tr><td>文化協会会員数（人）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td></td><td>目標</td><td>700</td><td>663</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td><td>700</td></tr><tr><td></td><td>実績</td><td>700</td><td>566</td><td>574</td><td>522</td><td>－</td><td>－</td></tr></table> <p>(注) 加盟団体へのアンケートから集計。未回答団体有り</p>							文化協会会員数（人）								年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7		目標	700	663	700	700	700	700		実績	700	566	574	522	－	－
文化協会会員数（人）																																						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																															
	目標	700	663	700	700	700	700																															
	実績	700	566	574	522	－	－																															
担当課評価・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																																			
	高齢化等の理由で団体数が減っている。新型コロナウイルス感染症が5類に移行しイベント等の活動も再開しているので、教育委員会から独立するためにも主体的に企画・運営を進めていく必要がある。																																					
教育委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																																			
	<p>■文化協会等、高齢化が一因で活動がままならない現状も見ながら振興策に取り組む必要があるが、簡単ではない。</p> <p>■日出町文化協会の独り立ちを目指すのであれば、構成する各団体が協会に加入していることの意義やメリットを感じて協会の運営・活動に自発的に関わるようにしなければならない。</p> <p>日出町文化協会ならではの活動を充実させるために、当面は側面的な支援を継続していく必要がある。</p> <p>■イベント等が再開されたことは評価できる。しかし、高齢化等で会員数の減少に伴い、今後運営等に支障が起こることが懸念される。会員数増や独立の為に文化協会の意義や運営方法等を見直すことも必要。</p> <p>■「芸術文化鑑賞イベント」や「ひじ産業文化まつり」などの開催により町全体の文化・芸術活動への関心を高めることができている。</p>																																					

第三者委員会 委員 評価・意見	評価	2.67	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆文化協会員は少し人数が減少しているが、芸能大会は、文化協会加盟団体が出演して大盛況であったとある。運営面では、しっかり担えている。</p> <p>◆文化協会の会員数は高齢化等により年々減少しているため、文化協会独立について随分以前より言われているが、困難ではないかと思われるので、抜本的見直しを行う必要があるのではと思われる。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	16 文化・芸術の振興																										
主な取組	(2) ひじ産業文化まつりの振興 ○ひじ産業文化まつり文化部門の各種企画を通して、町民に文化・芸術活動の面白さを周知。参加団体の増加によって、文化的賑わいのある町の実現を目指します。																										
実施事業	ひじ産業文化まつりの振興																										
令和5年度の取組実績	○堀義孝氏プロデュースによる第20回日出町瀧廉太郎記念音楽会の開催 ○芸能大会…日出町文化協会加盟団体が出演。運営は町文化協会が担う。 ○芸術作品展…日出町民を対象に出展を募る。日出町文化協会員の作品が中心 ○子ども向けイベント…文化協会の華道部会、絵手紙教室、竹工芸教室が企画・運営を行った。																										
成果	○瀧廉太郎記念音楽会は瀧廉太郎没後120年、音楽会20回の節目の年で大盛況だった。 ○芸能大会は大盛況で、作品展は幅広い世代の来場者に見てもらい好評だった。 ○初めて子ども向けイベントを行ったが、たくさん子ども達に楽しんでもらった。																										
課題・目標	○出演・出品者の多くを占める日出町文化協会の加入団体数減少への対策が課題 ○次年度以降も子ども向けイベントを続けていきたい。																										
数値目標	ひじ産業文化まつり参加団体数（文化部門） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>－</td><td>－</td><td>84</td><td>85</td><td>86</td><td>87</td></tr><tr><td>実績</td><td>－</td><td>－</td><td>24</td><td>50</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	－	－	84	85	86	87	実績	－	－	24	50	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	－	－	84	85	86	87																					
実績	－	－	24	50	－	－																					
担当課評価・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	瀧廉太郎記念音楽会は記念の年でもあり、大盛況だった。その他の芸能大会や芸術作品展、子ども向けイベントも好評だった。多くの世代に楽しんでもらえるイベントになるよう、参加団体の確保が課題である。																										
教育委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■子ども向けのイベントなど工夫された内容も実施され成果をあげている。参加団体数だけでは評価しきれない面もある気がする。 ■「ひじ産業文化まつり」は充実したものであったが、参加団体数の増加のための取り組みをお願いしたい。																										

教育委員 評価・意見 (つづき)	<p>■ひじ産業文化まつり（文化部門）の参加団体数は目標に達していないが前年実績から倍増している。</p> <p>内容や参加団体については従来の形にこだわらず、町内の各学校や任意のグループ、個人などに幅広く参加を呼びかけていく必要がある。</p> <p>■新しい取り組みや音楽会等の企画が好評であったことは、参加団体や関係機関の尽力の賜物である。限られた会場の中で、50団体もの参加があったことは評価できる。参加団体数の目標値が高すぎているのではないか。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆文化協会員が、様々な教室に所属して産業・文化祭りの作品の出品を担いその年齢層の高齢化が進んでいる。青少年への参加を促したい。</p> <p>◆参加団体が前年より増えてはいるが、目標値には届いていない。今後の目標値の見直しが必要ではないかと思う。</p> <p>◆子ども向けのイベントは大変良かったと思うので、今後も続けてほしい。</p>		
	総合評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	16 文化・芸術の振興																										
主な取組	<p>(3) 地域伝統芸能（辻間楽・津島神楽）の継承促進</p> <p>○伝統芸能の一つである辻間楽・津島神楽について、地域に根付く文化として魅力を発信し、保存・継承の重要性を広く周知することに取り組みます。また実際の継承活動として幅広い層に対する継承者の獲得と育成を目指し、本来の舞手の年齢層となる青年～成人層による各伝統芸能への再興と充実を図ります。</p>																										
実施事業	地域伝統芸能保存継承事業																										
令和5年度の取組実績	<p>○辻間楽の「若宮八幡神社大祭」「退職校長会大会アトラクション」「日出町児童文化祭」等の出演・披露</p> <p>○吉弘楽・立石楽の2団体を招聘し楽打の継承に係る意見交換会を開催</p>																										
成果	<p>○町民に対し、辻間楽の現及び保存継承の意義を周知・啓発できた。</p> <p>○所管行政・継承団体を含めた取組事例・課題等を共有できた。</p> <p>○成人層（保存会員）の継承者にわずかな増加があった。</p>																										
課題・目標	<p>○指導者不足の現状は変わらず、安定した継承活動に向け指導者育成等の支援を行う。</p> <p>○打子・楽師等の継承者を募り、継承者の充実を図る。</p>																										
数値目標	<p>地域伝統芸能（辻間楽・津島神楽）の継承者数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th><th>(基準値) R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th><th>R 6</th><th>(目標値) R 7</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td><td>18</td><td>19</td><td>21</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr> <tr> <td>実績</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td><td>21</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	18	19	21	23	24	25	実績	18	18	18	21	-	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	18	19	21	23	24	25																					
実績	18	18	18	21	-	-																					

担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	継承活動の活性化が図られない。継承者は高齢化の現状にある。		
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>■辻間楽が出演したアトラクションで、伝統芸能としての素晴らしさや実際の姿に触れ感銘を受けたといった声が多くあった。有効な支援策を望みたい。</p> <p>■継承に取り組んでくれる方に達成感を感じてもらうことが大事。習得した技能を発表する場を提供するなど、行政にできる支援策を模索していく必要がある。</p> <p>なお、ボランティアによる継承を行うことが現実的でないなら、後継者が途絶えてしまう前に、有償で後継者を育成することも検討の余地があるのではないかな。</p> <p>※ 「地域おこし協力隊員に技能を習得してもらう」「民間団体に後継者育成を委託する」等</p> <p>■郷土の伝統芸能を守るため、指導者の育成が急務。そのためには、さらに町の支援が必要と思われる。</p> <p>■指導者不足の現状を打開するために、安定した継承活動に向けた指導者育成等の支援をお願いしたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.33	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
	<p>◆辻間楽は退職校長会地域活動懇談会で地域の伝統芸能ということで是非、舞を披露してほしいと依頼し、練習も応援に行った。よく保存会の人がお世話をして継承者のこどもたちがしっかり練習できた。当日立派に舞を発表できて、感謝でいっぱいである。</p> <p>◆日出町の伝統芸能であるため、後継者が途絶えることのないように継承活動に努力してもらいたい。</p>		
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。

【担当】社会教育課

基本目標	IV 芸術・文化・スポーツの振興
基本的施策	17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり
主な取組	<p>(1) 郷土への愛着を育む展示の企画・開催</p> <p>○日出町の特色ある歴史・先哲をテーマに調査・研究を行い、その成果を歴史資料館（帆足萬里記念館）にて「特集展」として企画し、日出町内外のゆかりの資料の展示公開に取り組みます（開催回数：年間3回、開催期間：1回/4ヶ月）。</p>
実施事業	日出町歴史資料館（帆足萬里記念館）展示運営（特集展）
令和5年度の取組実績	<p>○第1回特集展「写真で振り返る日出の風景と辻間楽」（R5.3.7～R5.6.18）</p> <p>○第2回特集展「日出の少年少女 町の近代」（R5.6.20～R5.10.22）</p> <p>○第3回特集展「瀧家ものがたり」（R5.10.24～R6.2.4）</p>
成果	<p>○日出小学校創立150年、瀧廉太郎没後120年を迎え、特色ある展示が開催できた。</p> <p>○特集展の開催を基軸に、歴史資料館の存在が町内外に広く認知されてきている。</p> <p>○資料の調査や寄贈・寄託相談が増え、歴史資料館の運営が活性化してきている。</p>
課題・目標	<p>○展示企画調査や資料保存調査に多くの期間（平均1～2年）を要す。</p> <p>○1～2年先の時局を見据えた特集展の企画準備及び調査を要す。</p> <p>○特色ある歴史性を掘り起こし、町に潜在するポテンシャルを引き出す。</p>

数値目標	歴史資料館（帆足萬里記念館）での特集展開催回数〔年間（累計）〕（回）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標（年）	2	3	3	3	3	3
	実績（年）	2	3	3	3	－	－
	目標（累計）	2	5	8	11	14	17
	実績（累計）	2	5	8	11	－	－
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	時局に呼応・連携し、特色ある歴史性を以って企画・運営がなされている。						
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■特集展をはじめ、日出小１５０年などで身近な素材を生かした充実した内容の展示が多かった。 ■日出町の歴史や先哲に関する調査・研究を行い、その成果を発信する取り組みが行われている。町民等から資料の調査や寄贈・寄託相談が増えたのは、これまでの取り組みが広く認知・評価されてきた結果と思われる。 地元の歴史・文化的資源への理解を深めることは郷土愛の醸成に大きく寄与するものであり、今後ともこの取り組みを深化させて欲しい。 ■時間をかけて企画・展示をしているのに、特集展開催の情報が伝わってこない。いろんな媒体での情宣が必要。開催回数目標値はクリアしているが、実際の来館者数を記載してほしい。 ■歴史資料館での特集展開催回数は年々増加しており、今後も継続して内容の充実に努めていただきたい。						
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	◆歴史資料の調査は大変時間のかかる作業である。地道な努力に期待する。 ◆今後も特色ある展示や、町民が興味のありそうな講座の開催について更に努力してもらいたい。						
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興
基本的施策	17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり
主な取組	<p>（２）郷土への愛着を育む歴史・文化財の広報活動</p> <p>○日出町の特色ある歴史・文化、文化財、また、その継承に向けた保存・活用の取り組みを、日出町民をはじめ、大分県内外に広く周知・啓発を図るため、町の広報誌やホームページへの特集記事・コラム記事の執筆・掲載に取り組みます（年間 20 件）。</p>
実施事業	文化財普及啓発（広報活動）
令和5年度の取組実績	<p>○歴史資料館特集展の開催周知（町報 3 回）及び展示コラムの掲載（HP 18 回）</p> <p>○『学芸員のひじまち学』開催（4 回、来場者数延べ約 230 名）</p> <p>○『致道館塾 10 期生課程』開催（受講者 15 名）</p> <p>○城下かれい祭り『文化財体験ひろば』（勾玉づくり 96 名、ふるさとカルタ大会 19 名）</p>

(つづき)	○日出小学校事業連携・支援（創立 150 年記念事業、子ども学芸員体験事業）																																								
成果	○時宜に叶った歴史性をテーマに、特色ある展示・講座を開催することができた。 ○所属学芸員のキャリアを活かし、多様な企画を組み立てることができた。 ○他部署・他機関と連携・協力し、効果的な事業を実施することができた。																																								
課題・目標	○事業の開催にあたり、企画調査に多くの期間を要す（最低 1～2 年） ○HP・SNS 上の情報発信に対する反応が希薄な印象を受ける。 ○1～2 年先を見据えた調査・企画と所属学芸員の資質向上を図る。																																								
数値目標	歴史・文化財に係る年間広報活動（広報特集・HP コラムの計）〔年間（累計）〕（回） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標（年）</td><td>8</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>実績（年）</td><td>8</td><td>23</td><td>20</td><td>21</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>目標（累計）</td><td>8</td><td>30</td><td>50</td><td>70</td><td>90</td><td>100</td></tr><tr><td>実績（累計）</td><td>8</td><td>31</td><td>51</td><td>72</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標（年）	8	20	20	20	20	20	実績（年）	8	23	20	21	－	－	目標（累計）	8	30	50	70	90	100	実績（累計）	8	31	51	72	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																																			
目標（年）	8	20	20	20	20	20																																			
実績（年）	8	23	20	21	－	－																																			
目標（累計）	8	30	50	70	90	100																																			
実績（累計）	8	31	51	72	－	－																																			
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																																						
	時宜に叶った町の歴史性を捉え、所属学芸員の技能を活かした企画・運営がなされている。効果的な周知・啓発に向けた対策を要す。																																								
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																																						
	■歴史や文化遺産への興味・関心を高めるためにも、目標を上回った広報活動は効果があったと思う。 ■「学芸員のひじまち学」は地域に密着した意欲的な取り組みであり、参加者からの評価も高い。しかし、平日の日中に来場出来るのはほぼ高齢者に限られるので、講演を撮影した動画を町の HP に載せるなどの方法でより多くの町民に学ぶ機会が提供されることが望ましい。 ■郷土の学習時に学芸員に各小学校に来てもらい、授業をしてもらうことも検討してほしい。SNS 等は継続して発信することが閲覧数の増加につながるため、こまめに情報提供をしてほしい。 ■歴史・文化財に関する広報活動が継続的に行われている。SNS での発信の更なる充実を図っていただきたい。																																								
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																																						
	◆日出小そして他の学校も 150 周年ということで、資料収集等、大変だと思う。保管期間が来て廃棄処分が多いと思うので、学校だけでなく、地域の人にも広報して当時の写真、資料の提供依頼をすると良いのでは？ ◆学芸員を活用した取り組みは評価できる。今後も引き続き多くの人々に日出町の歴史や文化財について興味を持ってもらえるよう努力してもらいたい。																																								
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																																						

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	17 歴史文化遺産を活かしたまちづくり																										
主な取組	(3) 文化財施設の充実と来館者数の増加 ○日出町が所有・管理する文化財施設「歴史資料館（帆足萬里記念館）・隅櫓（鬼門櫓）・致道館」における企画・運営の充実を図り、年間来館者数（3施設の計）の増加に取り組めます。																										
実施事業	歴史資料館（帆足萬里記念館）・隅櫓（鬼門櫓）・致道館運営																										
令和5年度の取組実績	○資料館では、年間を通じ町の歴史性を捉えた特集展を3回企画開催した。 ○鬼門櫓・致道館では、文化財である建物を公開活用（屋内でパネル平常展示） ○資料館で帆足萬里忌辰祭連携展示、致道館で致道館塾開催及び雛めぐり連携開催																										
成果	○文化財施設の運営を通じ、町の観光振興（主に城下町観光）に寄与できた。 ○所属学芸員の企画努力により、昨年同等の来館者数を維持できた。 ○来館者対応（案内・調査相談等）を通じ、町の特色や魅力を周知・啓発できた。																										
課題・目標	○鬼門櫓・致道館の活用拡充に向けた企画運営が課題 ○中核施設である資料館の企画運営（収集保存、調査研究、展示啓発）に努める。 ○資料館・鬼門櫓・致道館それぞれの持ち味を活かした事業の企画運営を目指す。																										
数値目標	文化財施設年間来館者数【歴史資料館（帆足萬里記念館）・鬼門櫓・致道館の計】（人） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>9,205</td><td>10,000</td><td>11,000</td><td>12,000</td><td>13,000</td><td>14,000</td></tr><tr><td>実績</td><td>9,205</td><td>9,517</td><td>11,179</td><td>11,154</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	9,205	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	実績	9,205	9,517	11,179	11,154	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	9,205	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000																					
実績	9,205	9,517	11,179	11,154	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	歴史的特性を活かした企画・運営がなされているが、一層の周知・啓発の対策と努力が必要である。																										
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■日出小周辺で観光客（外国人を含む）の団体を見かけることがある。外部からの来館者数はどれくらいなのか。また、資料館等の周辺施設の情報は伝わっているのか。 ■文化財施設3館の概要や企画内容等を、町長部局関係課とも連携して町内外の方々へ適宜発信していく必要がある。 ■平常展示、特集展その他のイベントの開催等で来館者数を維持しているのは、評価できる。今後とも来館者の増加につながるような企画を期待したい。 ■歴史的特性を活かした企画を継続することにより文化財施設の来館者数の増加に繋がっていただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆どうしても歴史に興味のある人が中心で、他の人はあまり見聞きする機会が少ないと思う。どんな魅力があるのか、すごい価値があるのか、アピールして知らせたい。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	18 生涯スポーツの振興																										
主な取組	(１) 広報誌・ホームページ双方で周知啓発の促進 ○町民が進んでスポーツに取り組み、生涯を通じて健康の保持増進及び 体力づくりを実現するための意識の高揚を図るため、広報誌・ホームページにより町民への周知啓発を図ります。																										
実施事業	生涯スポーツ周知啓発																										
令和５年度の取組実績	○生涯スポーツフェスタ（体力・運動能力判定会）チラシや町報にて周知 ○日出町新春健康マラソン大会を、ランニングポータルサイト（RUNNET）に掲載																										
成果	○生涯スポーツフェスタに１３競技団体が参加 ○体力・運動能力判定会に２１人申込（１５人当日参加） ○日出町新春健康マラソン大会に４８６人申込（４２０人当日参加）																										
課題・目標	○体力・運動能力判定会への参加者を増やすこと ○日出町新春健康マラソン大会の参加人数を増やすこと																										
数値目標	スポーツに係る周知啓発回数（年間）（回） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>実績</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	0	0	1	2	3	4	実績	0	0	2	2	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	0	0	1	2	3	4																					
実績	0	0	2	2	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	日出町新春健康マラソン大会において、RUNNET を活用することで、受付業務の簡素化や町内外への大会周知ができたことにより、参加者増につながった。																										
教育委員 評価・意見	評価	3.75	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	■日出町新春健康マラソン大会において受付業務の簡素化や広報の工夫が図られ、参加者増となったことは好ましい。 一方で、生涯スポーツの振興を図るのはスポーツに取り組むことで生涯を通じた健康保持や体力づくりを実現しようとする趣旨であるから、広報活動はスポーツイベントの周知を図るだけでなく、運動することの効果等の周知啓発を継続的に行うべきと考える。 ■マラソン大会では新しい取り組みを行い、参加者増につながったことは評価できる。今後は、町民みんながイベントに参加しやすくなるような、企画・発信方法を検討してほしい。 ■広報活動により「日出町新春健康マラソン大会」参加者増加に繋がっている。広報誌・ホームページによる町民への周知啓発を図っていただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	◆所管課の報告・評価のとおり、事業が順調に推移していると思われるので、取組を継続し、より充実することを望む。																										
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	18 生涯スポーツの振興																										
主な取組	(2) 総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」の広報活動 ○子供から高齢者まで多くの町民にスポーツを楽しんでもらうため、日出町総合型地域スポーツクラブ「ひまわりのたね」の運営・活動を支援して回覧等により町民への周知を図ります。																										
実施事業	回覧等による町民への周知（広報活動）																										
令和5年度の取組実績	○会員募集のパンフレット配布 ○日出町新春健康マラソン大会にておしるこ提供再開																										
成果	○会員数が増加した。 ○イベントの広報によるクラブ認知度の向上																										
課題・目標	○総合型地域スポーツクラブにしかできない、関係団体等と連携した取組の実施 ○中学校部活動地域移行への対応																										
数値目標	総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」会員数 <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>181</td><td>200</td><td>220</td><td>240</td><td>260</td><td>280</td></tr><tr><td>実績</td><td>181</td><td>247</td><td>315</td><td>355</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	181	200	220	240	260	280	実績	181	247	315	355	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	181	200	220	240	260	280																					
実績	181	247	315	355	－	－																					
担当課評価・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	コロナ禍で落ち込んでいた会員数が回復してきたが、不適切な会計処理があり、公共性の高い団体として、信頼回復に向けた取り組みが求められるため。																										
教育委員評価・意見	評価	3.25	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■会員数は回復し、生涯スポーツ振興につながっている。健全な運営のもと、部活動地域移行への取り組み推進も望まれる。 ■「ひまわりのたね」の会員数は目標値を大きく上回り、かつ年々増加している。一方で、不適切な会計処理が判明してイメージを損ねることとなったことは残念でならない。 ■年々会員数も増加し、目標を大きく上回ったことは生涯スポーツ振興の点からも素晴らしいことだと思う。しかし、一方では興味があっても、一部の競技では参加者がほぼ固定されて入会しづらかったり、中途では入会しにくいとされている声を聞く。広く門戸を開けるために、対策をお願いしたい。 ■総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」の会員数は増加している。イベントの広報によるクラブ認知度の向上を目指していただきたい。																										
第三者委員会委員評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆みんなから信頼されるスポーツクラブであってほしい。町民の健康増進、体力向上につなげてほしい。 ◆住民から信頼される総合型地域スポーツクラブとして更なる活性化を図られたい。 ◆不適切な会計処理はとても残念だったが、会員数も増加しているそうだし、今後も運営・活動に期待している。																										
総合評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																									

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	18 生涯スポーツの振興																										
主な取組	(3) 指導者研修会の実施 ○スポーツ少年団の指導者研修を実施することにより、スポーツを通じた健全育成に努め、スポーツ少年団への加入率（小学生）の増加に取り組みます。																										
実施事業	指導者研修会																										
令和5年度の取組実績	○地域内・指導者スタッフ研修会の実施 ○日出町スポーツ少年団交流駅伝大会の実施																										
成果	○スポーツハラスメント撲滅を目指し、子どもたちにとってよりよい環境の整備 ○日出町スポーツ少年団交流駅伝大会にて、子ども達のお互いに励まし合う様子はチームワークを築くきっかけにもなる有意義な大会となった。																										
課題・目標	○スポーツ少年団への加入率が、年々減少傾向にあるため加入促進活動が必要																										
数値目標	スポーツ少年団への加入率（小学生の加入割合）（％） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>19.2</td><td>20.0</td><td>21.0</td><td>22.0</td><td>23.0</td><td>24.0</td></tr><tr><td>実績</td><td>19.2</td><td>20.2</td><td>18.5</td><td>17.0</td><td>-</td><td>-</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	19.2	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	実績	19.2	20.2	18.5	17.0	-	-
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	19.2	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0																					
実績	19.2	20.2	18.5	17.0	-	-																					
担当課評価・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	スポーツ少年団への加入率低下が課題。子どもの人数が減っていることもあるが、スポーツ少年団に加入しない原因を追及していく必要がある。																										
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■指導者研修会を充実させていくことが、生涯スポーツや部活動地域移行を進めていくには不可欠だと感じる。 ■スポーツ少年団への小学生の加入割合は2年連続して減少し、目標値を下回っている。団員減少は全国的な傾向であり、少子化や習い事の多様化など様々な理由が挙げられている中、子どもたちにとって魅力あるスポーツ少年団となるよう、指導者の資質向上や円滑な団運営への支援を行っていくことが望ましい。 ■子ども達の興味がスポーツからゲーム等に移り、また他の習い事もあり、全国的にも加入率が減少している傾向にある。親も忙しい中、送迎や試合等でスポ少に関わる機会も増え、そのことも敬遠される一因ではないか。 ■指導スタッフ研修会の実施などを通じてスポーツ少年団の活性化を図り加入率の増加を目指していただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	2.67	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆少子化に伴いスポーツ少年団の加入が減少しているのではと思う。子どもの体力向上、健全な心身の育成に指導者の養成や環境整備に努めてもらいたい。 ◆スポーツ少年団への加入率も低下していると知り驚いた。一度全幼稚園・小学校の保護者にアンケートを取り、原因を探ってはどうかと思う。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	19 競技スポーツの振興																										
主な取組	(1) 大分県民スポーツ大会の目標設定と成績の向上 ○全国大会に出場する選手を育成し、スポーツ人口の拡大と選手の発掘が進むことにより、大分県民スポーツ大会などの成績の向上に努めます。																										
実施事業	指導者の育成と技術力の向上																										
令和5年度の取組実績	○大分県民スポーツ大会の選手選考を兼ねた、日出町選手権大会を実施 ○大分県民スポーツ大会で、1～3位入賞した競技団体への補助金上乘せ ○競技の普及、部員の加入促進等を図るため「競技部振興補助金」を新設																										
成果	○大分県民スポーツ大会で16チーム中12位、躍進順位9位の成績となった。 ○大分県民スポーツ大会で入賞(1～3位)した団体数が増えた。																										
課題・目標	○選手発掘や競技人口の拡大が進まず、大会に出場できない競技団体がある。 ○既存の選手強化費や新設した競技部振興補助金の効果的な活用を推進する。																										
数値目標	大分県民スポーツ大会で入賞(1～3位)した競技種目数(年間) <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr><tr><td>実績</td><td>18</td><td>中止</td><td>25</td><td>25</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	18	19	20	21	22	23	実績	18	中止	25	25	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	18	19	20	21	22	23																					
実績	18	中止	25	25	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	スポーツ協会において、新たに振興補助金を設けたが、利用団体が少なかった。参加種目も増えず、県民スポーツ大会の総合成績も前回よりも順位が下がった。																										
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■競技によっては選手確保が課題となっている。県民スポーツ大会への参加資格の変更等、有益な情報があれば今後もその内容の周知に努めてほしい。 ■大分県スポーツ大会で入賞した競技種目数は2年連続して目標を上回っているが、選手発掘や競技人口の拡大が進まないために同大会に出場できない競技団体があることは残念。各競技への支援の公平性に配慮することは大切だが、一方で有望種目や低迷種目に対して一定期間集中的に支援を行うことは効果的と考える。 ■競技人口の拡大が進まず、大会に参加できない競技がある事は残念。重点競技や強化選手の設定も検討が必要ではないか。 ■大分県民スポーツ大会への参加種目数増加に向けて、競技部振興補助金の活用の充実を図っていただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆各スポーツにおいて、若い人の人材発掘に努力してもらいたい。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅳ 芸術・文化・スポーツの振興																										
基本的施策	19 競技スポーツの振興																										
主な取組	(2) スポーツ指導者研修会の参加者数の増加 ○スポーツ指導者研修会の充実を図ることにより、次世代を担う指導者の育成が進むことから、スポーツ指導者研修会の参加者数の増加に取り組みます。																										
実施事業	スポーツ指導者研修会																										
令和5年度の取組実績	○日出町地域内指導者・スタッフ研修会																										
成果	○指導者の育成による、各競技の強化及びより良いスポーツ環境の整備																										
課題・目標	○日出町スポーツ協会の競技力を支える人材育成のための、指導者研修会への参加																										
数値目標	スポーツ指導者研修会（参加人数） <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>36</td><td>40</td><td>45</td><td>50</td><td>60</td><td>70</td></tr><tr><td>実績</td><td>36</td><td>61</td><td>42</td><td>28</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	36	40	45	50	60	70	実績	36	61	42	28	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	36	40	45	50	60	70																					
実績	36	61	42	28	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	スポーツ少年団指導者の研修参加にとどまった。スポーツ協会加盟団体の指導者も、研修会参加を通して、意識の向上を図る必要がある。																										
教育委員 評価・意見	評価	3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	■スポーツ指導者研修会への参加人数は2年連続して急激に減少し、目標人数を大きく下回っている。競技スポーツのレベル向上を図るには優れた指導者の存在が欠かせないので、指導者の新規確保や資質向上に今後とも注力してほしい。 ■今回参加者が減少したのが、開催時期・時間・研修内容等参加のネックになっているのが何なのか検証が必要。 ■スポーツ指導者研修会の参加者数の増加を目指し、次世代を担う指導者の育成を図っていただきたい。																										
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	2.67	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								
	◆研修会の参加人数が令和2年度以降で一番少ない。さまざまな要因があると思うが一度見直す必要があるのではと思う。																										
総合評価		3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。																								

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅴ 人権を尊重する社会づくり						
基本的施策	20 社会教育における人権・同和教育の推進						
主な取組	(1) 町民の人権意識、学習ニーズに応じた様々な学習機会を提供 ○各種団体との連携のもと、職場や学校、地域や家庭など、あらゆる場において人権について正しい知識や理解が深まるよう、体系的に学習する機会を提供します。						
実施事業	人権講座、人権講演会、人権フェスティバル（共催）、小学校区別人権学習会、地区人権学習会						
令和5年度の取組実績	○日出町人権講座を5回実施（人権フェスティバル、差別をなくす人権講演会含む。） ○児童・生徒の人権意識の高揚を図るため、人権作文・標語・ポスターを募集した。 ○人権だより「じんけん」や人権コラム「こころのまど」にて、町民の人権意識の醸成を図った。						
成果	○同和問題の他、LGBTQ や子どもの人権など、幅広い人権について、町民への意識付けを行うことができた。						
課題・目標	○人権教育がマンネリ化しないよう、新たなテーマに係る講座を提供する。 ○多くの町民に講座を聴講してもらえるよう、SNS 等を駆使した広報を行う。						
数値目標	教育委員会が開催・支援する人権の研修、講演会の開催数（年間）（回）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
	目標	7	7	10	12	14	16
	実績	7	7	27	11	－	－
	教育委員会が開催・支援する人権の研修、講演会の参加者数（年間）（人）						
	年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7
目標	289	231	450	490	530	570	
実績	289	231	496	716	－	－	
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	別府地区社会人権・部落差別解消教育研究協議会の事務局として、研修会を企画した。						
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。				
	■研修や講演会の開催は人権について幅広く考える機会の場となっている。参加者数の増加もみられ、今後も継続した取り組みが望まれる。						
	■ 教育委員会が開催・支援する人権の研修、講演会への参加者数は2年連続して増加し目標人数を上回っている。 人権侵害の事例等が日々報じられており、人権を尊重する意識を育む不断の取り組みは欠かせない。						
	■講演会ごとの大幅な参加者の増加は、評価できる。町民の人権意識を高めることが目的とするならば、開催回数より如何に多くの人に足を運んでもらえるかが必要。						
	■人権の研修・講演会の参加者数が増加している。新たなテーマを設定することにより更なる充実を図っていただきたい。						

第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆人権講座を5回、そして人権フェスタと人権教育に向けての取組が以前より強化されていると思う。こどもたちの人権ポスター、人権標語、人権作文等で自分の頭で考え人権の大切さを広く深く探求し、実践につなげていると思う。</p> <p>◆人権研修や講演会の参加者は前年の実績に比べ大きく増加していることは評価できる。人権研修や講演会の開催は前年より減っているが、参加者数は増加しているので、多様な学習機会や、啓発機会を提供してもらいたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課

基本目標	Ⅴ 人権を尊重する社会づくり																										
基本的施策	20 社会教育における人権・同和教育の推進																										
主な取組	(２) 日常の様々な場面での効果的な人権教育と啓発 ○住民が人権課題に対して人権の大切さに触れることができるよう、「気づき」につながる情報発信に努めます。																										
実施事業	広報誌 人権コラム、人権だよりの発行、ホームページ・SNS での発信、展示・掲示等																										
令和5年度の 取組実績	○人権だより「じんけん」の発行（5 回） ○広報ひじ人権コラム「こころのまど」の掲載（4 回） ○人権フェスティバルにおける、小中高生の人権作品の展示																										
成果	○社会情勢に応じた人権トピックスを掲載し、多様な人権に触れる機会を継続的に創出 ○児童・生徒の人権作文を掲載し、幅広い年代に対し人権を考える機会を創出																										
課題・目標	○読みやすいよう、レイアウトや記事内容を検討する。 ○多くの人権作品の応募があるよう、募集を工夫する。 ○人権だより「じんけん」等をホームページに掲載し、広報を充実させる。																										
数値目標	<div>広報紙・町ホームページでの啓発の回数（年間）（回）</div> <table><tr><td>年度</td><td>(基準値) R 2</td><td>R 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td><td>R 6</td><td>(目標値) R 7</td></tr><tr><td>目標</td><td>6</td><td>14</td><td>17</td><td>19</td><td>22</td><td>24</td></tr><tr><td>実績</td><td>6</td><td>14</td><td>28</td><td>20</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>						年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7	目標	6	14	17	19	22	24	実績	6	14	28	20	－	－
年度	(基準値) R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	(目標値) R 7																					
目標	6	14	17	19	22	24																					
実績	6	14	28	20	－	－																					
担当課評価 ・理由	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	班回覧、SNS などを利用して、広報に努めている。																										
教育委員 評価・意見	評価	4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。																								
	<div>■「人権だより」や「人権コラム」などいろいろな人権にかかわる情報発信を行っていく意義は大きい。受け手の人権意識の高まりにつながっていくことを期待して続けていくことが大切だと感じる。</div> <div>■ 広報紙や町ホームページで目標回数を上回る啓発活動を行っている。 人権問題に対する意識の維持・向上を図るには、身近な事例等について考える機会を継続的に提供することが効果的であり、今後とも様々な媒体を活用して啓発に努めることが望ましい。</div>																										

教育委員 評価・意見 (つづき)	<p>■啓発回数は伸びているが、さらに人権の大切さを広めるために特に若者への啓発が必要。SNS を利用し、頻繁な更新（LINE 等）を検討してほしい。広報誌中心では、若者は目に触れる機会が少ないと考えられる。</p> <p>■町民が人権の大切さを意識できるような広報活動の充実を今後も継続していただきたい。</p>		
第三者委員会 委員 評価・意見	評価	3.67	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
	<p>◆人権の大切さを、こどもたちが、確かに気づき、自分がその課題にどう向き合って実践を取り組んでいくのか言えるようになってほしい。</p> <p>◆前年に比べ実績の啓発回数が減っている。多くの住民に人権問題について関心を持ってもらえるよう努めてもらいたい。</p>		
総合評価		4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。

【担当】社会教育課